**前説**

それではこれよりおすすめ同人紹介による 同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2024

授賞作発表を開催いたします。

おすすめ同人紹介のみなみと申します。よろしくお願いいたします。

まず本日のスケジュールをご説明いたします。

クリック

このあとすぐ、ノミネート作品の紹介を行います。

16:30頃から授賞作発表、

17：00頃からはノミネートサークル様から一言をいただき、終了は17:30頃を予定しております

どうか最後まで、お付き合いいただければ幸いです。

クリック

　なお、ロゴ・バナーは不機嫌亭デザインズさんに作成いただき、ＢＧＭはTeamLinkさんのアドベンチャーゲーム[veil]の音楽と、「愛病世界」シリーズの東堂前夜（とうどうぜんや）さんに書き下ろししていただいた音楽を使用させていただいております。

クリック

さて、これを聞いてくださっている方の多くは既にご存知かとは思いますが、同人ゲーム・オブ・ザ・イヤーとはなんだ、というところから説明させていただきます。

同人ゲーム・オブ・ザ・イヤーは2006年より多少形を変えながらも続いている企画で、その年度、4月から次の年の3月までに発表された同人ゲームの中で、各部門に当てはまる作品やキャラクターを候補としてノミネートし、最終的に部門ごとに一つ、受賞作を決めるというものです。

なお、選考は全ておすすめ同人紹介のみなみ一人で行っております。

クリック

　部門についてはご覧のとおりとなっております。

クリック

基本的に一ルート以上完結か、一話完結形式の作品が各部門の対象です。

クリック

　作品部門はノミネート作品全てが対象となっております。

クリック

それではまずノミネート作品の紹介です.

クリック

**ノミネート作品紹介**

熱、ロジック、爆笑、独創部門、パルソニックさんの「鏡（かがみ）のマジョリティア」です。

この作品は12歳以上推奨フリーソフトです。

クリック

TAIGA（たいが）が朝、目を覚ますと、

クリック

母親から「遊戯王（ゆうぎおう）のデュエルディスク」みたいなものを左腕に装着（そうちゃく）させられる。

なんでもこの世界では「マジョリティア」「魔女の布陣（ふじん）」というトレーディングカードゲームが流行っているらしい。

クリック

TAIGA（たいが）は「マジョリティア」のことを一切知らない。

けれど周囲は彼のことを「ゴッドドローのタイガ」と呼び、熟練者扱いしてくるのだった。

ということで初めての対戦は友達のゴリダ。

クリック

「マジョリティア」を知らないTAIGA（たいが）は震える声でルール説明を求めますが、

お前の方が詳しいだろと流されてしまいます。

シャッフル

ルールも用語もわからない中、勝つことを強いられる

「暗中模索（あんちゅうもさく）カードゲーム」

まあメタ読みすればこれは第一戦なのでチュートリアルでしょう。

「シャッフル」なんて普通にカードを混ぜることでしょうし、この調子なら何とかなりそうです。

右側にシャッフル表示

出てきた用語は右側に表示され、メモをすることもできます。

用語数もそんなに多くなさそうですし、

子供が遊んでいるゲームですし、

この調子なら何とかなりそうです。

アバター愛の魔女出るまで待つ

（真剣な声で）愛の魔女、ビッグバン「依依恋恋（いいれんれん）」

「オリジンが最初にサモンしたソウルがオブリビされずに4回のエンドフェイズを迎えること」

TAIGA（たいが）くんの顔をご覧ください。

すっかり諦（あきらめ）めきっています。

そんなわけがわからない中、ゴリダはシャッフルを求めてきます。

ただでさえ様々な用語が出てくるのに、その上カードゲームを進めなければなりません。

（ブブー）

間違ってしまいました。

とりあえず他に押せそうなところを試してみると……

（シャッフルボタン押す）

うまくいきました。

こちらが引いたのは……鏡の魔女。

音楽変わるまで待つ

ゴリダが驚愕しています。BGMまで変わりました。

……でも、こちらには何がすごいのか「全（まったく）く」分かりません。

「登場人物に感情移入した」とよく言われますが、断言できます。

私はいま、「TAIGA（たいが）くんと同じ気持ち」になっている、と。

完璧な感情移入です。まあ、その感情って「ぽかーん」なんですが。

ストーリーは友情パワーとマジョリティアで問題を解決したり、

大会を勝ち進んだり、妙に重い展開もあったりと

王道ホビーアニメといった感じで熱く、問題が解決したときは感慨深かったです。

そうこうしているうちに、右側の用語がどんどん埋まっていきます。

もちろん、下まで埋まったら終わりなんて生易しいわけがありません。

しっかりスクロールできようになっております。

さらに、用語が何かを推測して終わりではありません。

恐ろしいことにこのゴリダ君との対戦は本当にチュートリアルで、

中盤以降は色々な戦術をとってくる対戦相手に合わせてカードデッキを組み替える要素もあります。

このマジョリティアは運で勝つことはできません。

しっかりカードの効果を把握してタクティクスペラを考えてゴッドドローする必要があります。

公式に「エンディングまでの難易度は高めです。」と書かれているのはウソではありません。

当然初見（しょけん）で勝てるわけもなく、負けたらリトライで突破口を探す、

いわゆる「死んで覚えるゲーム」となっています。

クリック

メモだけでなく、用語を視覚的に表（あらわ）したノートもありますので、

カードゲームに詳しい方も、そうでない方も、ジェマーの方も是非チャレンジしてみてください。

クリック

最後までクリアしたライセンサー同士（どうし）であれば、

チーツクは「ジェム問わずスペラできる」のに「フルジェムになるまでコレクトする効果」が強すぎる。

「先制チーツクを許すな！」

と意気投合できるに違いありません。

ただ、現実のトレーディングカードゲームでも、

初めて触れた人はさっきの動画みたいになっているかも、と考えると……笑い事では……ないかもしれません。

クリック

助演男優、独創部門、茶碗蒸（ちゃわんむ）しさんの「クリエイターズ・デスゲーム」と綾斗（あやと）です。

この作品はフリーソフトで、おまけシナリオが読める有料版もあります。

クリック

人里離れた建物に集められた六人のクリエイター。

全員が炎上スキャンダルを抱えている彼らは、「断罪ゲーム」に巻き込まれる。

緑の部屋

「断罪ゲーム」は、指定された相手の証拠品を集め、

スキャンダルを認めさせれば、それがネット上に公開され相手は炎上。失敗してしまうと自分たちが炎上、というもの。

一流

そんな「社会的」なデスゲームではありますが、

探索していく中でクリエイター同士交流して創作論を交わしたり、助け合ったり、**騙されたり**

といった人間ドラマもたっぷり味わうことができます。

クリック

助演男優部門、綾斗（あやと）、女性に人気の歌い手です。

クリック

見た目はちょっと怖いですが、すぐに親しみやすくて頼りになることがわかります。

探索中、綾斗（あやと）と遭遇すると安心できました。

クリック

同時に、大好きな人のためならば自分が悪者になることも厭（いと）わない覚悟も持っています。

終盤の彼に関するシーンはどれも、とても印象的でした。

クリック

また、綾斗（あやと）以外の登場人物もそれぞれ魅力的で、

特に向かって一番右側の小説家、春水（しゅんすい）さんはハマる人が多そうです。

クリック

スキャンダルの内容はクリエイターならではの内容から、

クリック

そうでないものまで多種多様。それらが暴（あば）かれる「断罪ゲーム」には主催者がいます。

（揺れるまで待って）……揺れます。

（カウント３まで待って）その名も暴露系（ばくろけい）Vtuber（ブイチューバー）暗罪（アンザイ）もえ

この配信開始アニメーション、めっちゃVtuber（ブイチューバー）っぽくてお気に入りです。

こんな可愛いアバターながら、「断罪ゲーム」を開催するだけあってクリエイターに「思うところ」があります。

クリック

ゲーム序盤からこのセリフです。

飛ばしてるなあ！　と一気に先が気になりました。

クリック

続きです。

クリック

まだまだ言います。

クリック

……えー、この配信が炎上しないように一応お伝えいたしますが、これは**「フィクション」**ですのでご了承ください。

クリック

主演男優、脚本、ロジック部門、物置（ものおき）の中（なか）の骸骨（がいこつ）さんの

「トランス→トラベル」と積口数彦（せきぐち かずひこ）です。この作品はフリーソフトです。

クリック

中学三年生の西音寺光（さいおんじ　ひかる）は、

クリック

自分だけが別の場所に飛ばされ、恐ろしい出来事に会う、という幻覚のような症状（しょうじょう）に悩まされていた。

クリック

ある日、同じ中学のお調子者、積口数彦（せきぐち　かずひこ）が話しかけてくる。

クリック

ダメもとで自分の症状を打ち明けると、二人揃って別の場所に飛ばされる。

二人はその症状を「トランス」と名付け、調査を行（おこな）っていくのだった。

トランス中に起こることは、巨大なハエに襲われたり、

クリック

光（ひかる）が苦手だった小学校の先生から、しゃべるキノコを食べさせられそうになったりとエキセントリックなもので、

クリック

そりゃあ、こんな不安定な精神状態にもなるなあ、と思わせられます。

そうした真に迫った表情が描かれたグラフィックも印象的。

しかし、追い詰められていく光（ひかる）の助けになるのが、

クリック

主演男優部門、積口数彦（せきぐち　かずひこ）

学校で掃除用のホウキを使って遊ぶようなタイプで光（ひかる）は相いれない存在だと思っていたのですが、

数彦（かずひこ）は光（ひかる）の状況を、本気で何とかしようとしてくれます。

クリック

さらに見かけによらず頭脳派で、要所でこんな図を用いて話を整理してくれます。

……ここに記載されている通り、本作は時間超越、並行世界、ループなどを含む物語で、

ループして原因を回避したと思ったらより悪い事態になったり、

それでもあきらめずに行動して、良い未来にしようとしたり、その過程が読み応えありました。

クリック

また、ブロマンス、男同士の親密な関係をたっぷり堪能できるところも本作の良さで、

お互いを信用し、お互いを「助けようと行動する」二人の感情が尊かったです。

クリック

私はこの手を組んで同じ方向を見る二人の絵がお気に入りです。

クリック

ですが、いくら数彦（かずひこ）が頼りになると言っても、彼も人間です。そして、本作は並行世界もの。

ちょっとしたボタンの掛け違えで数彦（かずひこ）も闇落（やみお）ちしてしまいます。

そうなってしまった彼の姿が

クリック

こちらです。

…………誰が見てもわかるほどに闇落ちした姿でした。

クリック

脚本、ロジック、独創部門、

冬のいもうとさんの「捌月（はちがつ）のダムナシオン」です。

この作品は女性向けでDL販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

母子家庭で母親から暴言・ネグレクトを受けながら育った朔晦　滋郎（たちもり　じろう）。

クリック

ある日、母親が鎧武者（よろいむしゃ）に殺されてしまう。

血生（ちなま）ぐさい出来事なんですが、……甲冑（かっちゅう）の家紋（かもん）がなんだか可愛いですよね。

「鎧武者（よろいむしゃ）による殺人」などという時代錯誤（じだいさくご）の証言を警察に信じてもらえないなか、

クリック

伯父（おじ）だという大企業の社長、由月　愛河（ゆげつ　あいが）がやってきて、

自分たちの一族は亡霊武者に祟（たた）られていると告げるのだった。

五十年に一度、一族のほとんどが亡霊武者に殺される由月家（ゆげつけ）。

当主の由月　愛河（ゆげつ　あいが）は対抗のため

クリック

元フランス外人部隊（がいじんぶたい）に所属していたギヨムを雇い、

クリック

様々な対策を施（ほどこ）した場所に一族でこもり、祟りから生き延びようとする。

そんな中に由月家（ゆげつけ）の血を引いているかもしれない朔晦　滋郎（たちもり　じろう）が放り込まれます。

ジャンルは「垂涎TTR（ティーティーアール）と書いて祟（たた）られノベル」

と言うと「なんのこっちゃ」という感じですが、

クリック

亡霊が殺しに来るホラー、亡霊と闘うアクション、

クリック

祟りの解決方法を探すミステリー、

クリック

一族の中で自分だけ生き延び財産を独り占めしようと、「裏切（うらぎ）りあう」サスペンス、

クリック

滋郎（じろう）がギヨムにさんざん「からかわれる」コメディなど、様々な要素盛りだくさんで、どれもが面白かったです。

クリック

しかしそれ以上に、作中、様々な登場人物が他の登場人物だけでなく、

クリエイターや、民衆や、プレイヤーに「喧嘩（けんか）を売り続けます」。

筋道立（すじみちだ）っていながら、暴論ともいえる言葉。

クリック

他人に向けられていればいっそ痛快ですが、読んでいる自分にも向けられます。

……私はかろうじて致命傷（ちめいしょう）で済みました。

クリック

助演男優部門、由月愛河（ゆげつあいが）

大企業の社長で、「死なないためなら死んでもいい」がモットーだと言い放ちます。

クリック

自分のために他の「何もかも」を利用して全く悪（わる）びれない傍若無人（ぼうじゃくぶじん）さと、

そう振舞（ふるま）うに足（た）る、容姿（ようし）と実力がありました。

クリック

で、ですね。私、紹介内容や画像はなるべく核心に迫るネタバレはしないように、と思っているのですが、

音楽は重要な場面のものを流しがちです。

本作において重要な場面の一つが由月　愛河（ゆげつ　あいが）の「あの」シーンであること、

そして「そこで流れるBGMがとても印象的であること」はおそらくプレイした「ほぼ全員」の共通認識でしょう。

しかし、音楽だけでネタバレになってしまいかねない。私はそう思い、使用できませんでした。

詳細（しょうさい）や画像なんてもってのほかです。

クリック

それほど強烈な秘密を、作中の登場人物全員にも、そしてプレイヤーにも隠し通した。

このような大人（おとな）げないことをしつつも、最後まで格が落ちない傑物（けつぶつ）でした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）

主演男優、脚本部門、瓶（びん）づめさんのCrystal Rain（クリスタルレイン）とトキトです。

この作品は女性向フリーソフトです。

瓶づめさんの作品は配信禁止なのですが、今回は「特別に」許可をいただき紹介しております。

クリック

幼い頃に魔女候補として異世界に連れ去られたものの

七年後（ななねんご）に不適格（ふてきかく）となり、元の世界へ戻された加宮（かみや）カナデ。

しかし人々は異世界を信じず、ただの誘拐事件の被害者として両親からは過保護に、

周囲からは奇異（きい）の視線で見られながら肩身（かたみ）の狭（せま）い高校生活を送っていた。

ある日カナデは、異世界にしか存在しないはずの「穢（けが）れ」に襲われ、トキトという青年に助けられる。

歌始まる

さらに異世界で共に暮らしたこともある「ニルギス」とも再会するのだった。

というファンタジーな舞台での恋愛物語。

「穢れ」という存在のいる異世界もファンタジーではあるのですが、

カナデが生まれた世界も過去にドラゴンが存在し、不思議な力や未踏（みとう）の地が存在する世界です。

カナデの世界と異世界、どちらも現実とは異なりますが、そこに言及（げんきゅう）がありつつも本筋とはならず、

八戸（やと）ヤツカの名前が出る

あくまで世界観の補強にとどめられていて、読んでいて物語の厚みを感じられました。

ルートは異世界の存在である「トキト」と「ニルギス」の二人。

それにぐいぐい友達になろうとしてくる少女、「弓原（ゆみはら）ユイナと」、

ニルギス

今はいないドラゴンを倒す訓練と言い、毎日高校で刀（かたな）を振り回す狂人（きょうじん）にして幼馴染の

「八戸（やと）ヤツカ」の高校生二人を合わせた、四ルート。

「穢れ」とは無縁（むえん）で進むユイナルートの女の子同士の友情も微笑ましかったですが、

「穢れ」が関わってくるルートはそれぞれに危機感を覚える展開もあり、相手との恋愛もありでハラハラドキドキさせれらます。

四つのルート全てで、「変わってしまう」戸惑いや恐怖、「変わること」の強さ、といった「変化」が感じられる作品でした。

クリック

主演男優部門、トキト。

とある組織のトップながら、その上位存在がいてやっていることは中間管理職（ちゅうかんかんりしょく）。

そして現在は「部下が全滅していて現場仕事も含めた全てでワンオペ」を強いられています。……かわいそうですねえ。

クリック

ですが、巻き込んでしまったカナデが危険な目に遭わないように闘いでも守ってくれますし、

歯向かうとまずい上位存在から命令されている、という難しい立場の中で

最大限カナデに負担を掛けないように配慮してくれます。

そして顔がいい！

クリック

主人公カナデがこうして顔を赤らめる場面は他のルートでもあるのですが、

私の目にはトキトルートのカナデが「いっちばん」とろけた顔をしていると思えました。

クリック

もうちょっと休んでほしい……と願いつつも、

やさしくて頼りになって顔がいい男に守られるのは……とってもいい気分でした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）主演女優、

クリック

穏やか、ムービー・動画、歌曲、ＢＧＭ部門、くまのこ道（どう）さんの「建設的な恋なんて！」とイェレナです。

この作品は乙女12歳以上推奨フリーソフトです。

回復能力があるため、危険な仕事をさせられやすい「ニベック」という種族の労働実態を調査するため、

ダンジョンで有名な都市「エルクマーレ」に派遣された公務員イェレナ。

それでも靴底（石畳）

彼女は売れっ子ダンジョン建築家、ヘンドリックの役所窓口をこなしながら、

そこで知り合ったニベックの青年、ラウに事情を聞くのだった。

過去、魔王がいたころのダンジョンは、RPGなどにある、いわゆる普通の「ダンジョン」でしたが

魔王討伐後はリアル脱出ゲームのようなアトラクションになっていて、

今では人の手で一から「ダンジョン」が建造されることも珍しくない。

そんな世界観を舞台にした、「建築」と「労働環境」という現実的な要素たっぷりの恋愛ファンタジー。

画面窓に雨

主人公が労働実態を調べるわけですが、

馬鹿正直に調査にきました！　と告げたら当然、都合の悪い部分を隠されてしまいます。

画面に線路

そのため主人公は隠れ蓑（かくれみの）として、ダンジョン建築家ヘンドリックへ、公共事業を依頼する担当者となります。

けれどヘンドリックは自分にも他人にも要求する仕事の水準が高く、前の担当者はギブアップ。

さて、主人公はどうなるか、というところで

クリック

主演女優部門、デフォルトネーム「イェレナ」

名前変更可能です。労働実態を調査する、という本当の目的をこなしながらも、

クリック

ヘンドリックが認めるほど仕事ができる格好いいおねーさんです。ほくろが百点満点です。

一つ一つの仕事の意味を理解して、よりよい提案をしたり

ちょっとした会話の中に気遣（きづか）いやユーモアがあったりして、ちゃんと「社会人」をしています。

このヘンドリックもそれは……えー、「「おおむね」」同じですし、

クリック

ニベックのラウも仕事ができるおにーさんです。ただ私、ラウの第一印象は「笑顔がうさんくさい」でしたが。

ともかく、ヘンドリックとも、ラウとも、社会人同士、相手に対する尊重や信頼関係があって、

紆余曲折はあれど地（ち）に足（あし）がついている、忙しいけれども穏やかな日々がとっても好ましかったです。

同時に、恋愛になるといろんな「しがらみ」を考えて勢（いきお）い任（まか）せにならず、

ちょっと躊躇してしまうのがまた良かったです。

クリック

先ほどの実写を交えたムービーとさわやかな歌も印象的ですし、

歌はＥＤにも二曲あり、読み終えたときの感慨（かんがい）をよりいっそう深いものとしていました。

ＢＧＭも歴史的なダンジョンが存在する「エルクマーレ」の歴史を感じさせる、

穏やか、かつ瀟洒（しょうしゃ）な曲が多くて、主人公と一緒にこの街で過ごしているかのような気分になりました。

登場人物、ストーリー、絵、音楽。すべてで、大人の仕事、大人の恋愛を味わえました。

クリック

脚本、闇、爆笑部門、JUNKorSKY（ジャンクオアスカイ）さんのHEREMITA（エレミタ）です。

この作品は乙女18禁でダウンロード販売で入手可能です。

クリック

由緒ある魔法使い一族、ベデリグント家で生（う）まれ育（そだ）ち、

魔法大学校（まほうだいがっこう）に通うリディ・ベデリグントは、

クリック

父親であるキリオンを尊敬すると同時に、自分と比べてしまい劣等感を抱（いだ）いていた。

ある日、リディが暮らす里で魔法使いが殺される事件が起こる。

クリック

魔法協会から派遣されてきた事件の調査団の中に、

幼い頃に仲良くしていたギルヴェルス・アベスグントがいたのだった。

クリック

魔法使いと、魔法が使えない人間がそれぞれ別の場所に住んでいて、あまり関わりのない世界が舞台。

クリック

乙女+学園+魔法×メロドラマ+エロ+ロマンチック+サスペンス

とのことで要素が多い！　ですが、ここに「コメディ」も足してください。

登場人物のほとんどが重たいものを抱（かか）えているうえ、絵柄も骨太（ほねぶと）。

いかにも「陰鬱でお堅い物語」といった感じで、実際そういう部分もたくさんあるのですが、

クリック

だからこそ鈍感すぎるリディのずれた行動や、

リディの友人、向かって右側のガロシュ・ララントの不憫さが可笑しかったです。

クリック

リディは見た目が威厳あるものの、内心は劣等感まみれで、卑屈で、父親の言うことに流されて、

でも周囲には精一杯虚勢を張っていて……というと「いいところ無し」みたいですが、

そんな弱さはおそらくほとんどの人が持っているもので、

等身大の存在として時には見守り、時には我がことのように思いながら読み進められます。

クリック

リディ以外の登場人物もそれぞれ一癖も二癖もあって、善人とも限らず、一筋縄ではいきませんが、みんな魅力的でした。

クリック

こちらがルートを示したチャートで、大まかに五つのルート、九（ここの）つの結末があります。

中央、ルート４の上に岩が置かれている通（とお）りルート制限があり、いわゆる「真相ルート」になっています。

クリック

制限のないルートでは真相はどのようなものなのだろう？　とあれこれ「考（かんが）えがい」があると同時に、

もちろん大きな問題や悩みはあるものの「真相を知らないからこその幸せ」とも言える糖度の高い恋愛を味わえました。

クリック

こういう体格差も素晴らしいです。

クリック

逆に真相ルートでは「後ろめたさや痛々しさ」を伴（ともな）う恋愛が描かれていて、私としてはどちらもおいしかったです。

さらに物語としても、真相を知ると、

共通ルートや制限のないルートの裏ではこんな思惑や動きがあったのか、

と改めて気づくことができ、読み応えがあります。

クリック

「乙女+学園+魔法×メロドラマ+エロ+ロマンチック+サスペンス」

その全て……と、あと「コメディ」までが全部込められた、読み応えたっぷりの作品でした。

クリック

心、穏やか部門、リミナルバニラさんの「初恋焦（あせ）って砕（くだ）けたら」です。この作品はフリーソフトです。

クリック

デザイン系の専門学校で学んでいるものの、伸び悩みを感じていた緑川（みどりかわ）まりな

名前変更可能です。は、「妊娠」にまつわることに恐怖心（きょうふしん）を抱（いだ）いていた。

クリック

担任の先生がまさにその妊娠で産休に入ることになり、素直に祝福できず引け目を感じるなか、

クリック

代理として海外で有名な画家、双海未明（ふたみ　みめい）が担任となる。

クリック

ある日主人公は、彼が恋愛感情はあるが、

性的なことに嫌悪感を持つロマンティック・アセクシャルであると知るのだった。

専門学校を舞台に、性的接触に興味のない人間の恋愛や創作することの葛藤が描かれていきます。

クリック

同じクラスの友達と仲良くしたり、創作することに悩んだりといった青春をまぶしく感じることもあれば、

周囲との軋轢（あつれき）や、世間的には「普通とみなされない」、性にまつわる悩みで重苦しくなる部分もあり、

クリック

様々な要素が含まれているのですが、主人公の心情描写が丁寧で、

主人公の喜んだり、落ち込んだりといった感情が伝わってきました。

クリック

そしてこのタイトル画面をご覧ください。……双海（ふたみ）先生です。

キツネ目（め）、姫（ひめ）カット、長髪（ちょうはつ）、丸眼鏡（まるめがね）です。

クリック

文化祭でファッションショーに参加するのですが、狐のお面にキセルと着物が似合いすぎです。

どう考えても物腰（ものごし）が丁寧（ていねい）で……腹黒（はらぐろ）そうですよね。

でも待（ま）ってください。

クリック

なんと関西弁です。……もうおしまいだ、裏切（うらぎ）られる！　私はびくびくしながら読み進めました。

ですが双海（ふたみ）先生はすごくいい人で、先生と学生の間で一線をしっかり引いたうえで、

親身に相談に乗ったり、助けてくれたりする人で、私は見た目で決めつけてしまってごめんなさい、となりました。

クリック

まあエンディングによってはヤンデレますが。

でもそれも主人公の卒業後ですし……というかこのヤンデレエンドが私は大好きでして。

クリック

双海（ふたみ）先生はヤンデレになっても主人公が嫌がったり、不安になったりすることはしません。

主人公が嫌なものを見ないように、大切に、大事に、安心できる世界をつくります。

不健全かもしれませんが、二人が幸せならそれでいい、そう思えました。

クリック

また、バッドエンドも含めたどの結末でも、「性的なことへの嫌悪感」が変わることはありません。

恋愛や性に対してどう感じるかに優劣はなく、無理に変わるようなものではない、ということが最後まで貫かれています。

そんな、登場人物の気持ちが尊重されているところも、この作品の良さでした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）まずクリック

目の前で、少女が、泣いている……

あなたは、小さな妖精（ようせい）

少女の涙から生まれた。

ちっぽけな存在

だけど

少女のために、何かできるとすれば……

**おどる！**

8秒待つ（ズンチャを8回数える）

心、楽、独創、短編、ＢＧＭ、特殊効果部門

namacream（生クリーム）さんのOnly Dance!（オンリーダンス）です。

この作品はフリーソフトです。

タイトル消える

泣いている少女、というはじまりから、悲しい話なのかな……と思ったすぐあと、

「おどる！」という力強く、選択の余地もない選択肢。

「おどる！」

リズミカルな音楽に合わせてなめらかに踊る小さな妖精。

開始10秒ほどで、なんだこれは！　となります。

そして、なんだか笑顔になっている自分に気付きます。

「おどる！」

文明（ぶんめい）が生まれるより前から存在したであろう踊りのパワーを理屈ではなく体（からだ）で感じました。

さらに、妖精が自問自答するテキストも、素朴（そぼく）ながら心がこもったもので、

泣いている少女のために何かをしなければ、

どうか、笑ってほしい、

けれど、悲しげな顔のまま。

音楽止まったら

ここで「やめる」を選ぶと踊りだけでなく音楽も止まります。

さっきまで楽しそうに踊っていたのに……とひどく喪失感を抱きます。

しかし……

音楽再度流れたら

踊らずにはいられません。

本作は5分ほどの長さですので、是非最後まで読んでみてください。

気分が落ち込んでいるときに読めば、元気をもらえます。

特に落ち込んでいないときに読めば、笑顔をもらえます。

そして、私くらいになると……たびたびゲームを起動して、……一緒に踊っています！

5秒ほど待ってクリック

心、独創、特殊効果部門、パンくず工房さんの

「Sugar,sugar,sugarcoat（シュガー・シュガー・シュガーコート）」です。

この作品はDL販売で入手可能です。

クリック

普通の学園生活を送っていたヘレナ・ジレットは、

クリック（マリー・グラネ）

悪魔を名乗るマリーの呪いで、「マリーを愛する」ようになってしまった。

クリック

「人間たちの愛を捧げてほしい」と言うマリー、あるいは他の何者かに操られるように、

クリック

ヘレナは友達のクラリス・ティロル、

クリック

サラ・ヴィラール、

クリック

ミシェル・セニエ、と、より深く関わり、

クリック

秘密に踏み込み、彼女たちから愛を得（え）ようとしていくのだった。

クリック

百合……というよりは「ロマンシス」、女性同士の親密で精神的な繋がり、の

「恋愛シミュレーションノベルゲーム」

クリック

もともとヘレナとその友人たちは、寄宿舎のある宗教系の学園で、ときおり集まってお茶会をするような生活をしています。

レトロゲームを思わせる音楽やドット絵風のビジュアルも相まって、居心地の良さを感じました。

しかし、愛を集めなければならないヘレナは三人のうち一人を選んで、

彼女たちが表（おもて）に見せずに秘（ひ）めていた問題を暴きます。

サラ

結果は、問題を解決できてハッピーエンド、解決できなくてバッドエンド

そしてもう一つ、彼女たちとより仲良くなった結果……より「過酷な目」に遭うトゥルーエンドがあります。

クラリス、サラ、ミシェルとの個別ルートだけでも、

彼女たちの心の機微（きび）が細やかに、痛々しく描かれているのですが、

音楽変わる

心に触れることはあくまで手段。

そうしてたくさんの愛を得ることで、がらっと異なる展開を迎えます。

メッセージウインドウ、セーブとロード、登場人物紹介、

あるいは物語自体に込められた仕掛けが話に溶け込み、あるいは主張してきて翻弄されると同時に、

なくしものが見つかる呪文

「全てが薄い膜の向こうにあるよう」な、眺められるけれども触れられない、と思わせられるものになっていて、

彼女たちの立場やシナリオに沿った雰囲気作りが巧みでした。

細やかな心情と演出で描かれる、

彼女たちの「恋（こい）」と「愛（あい）」と「呪（のろ）い」にあふれた物語でした。

クリック

主演女優、脚本、心、ＢＧＭ部門

「万年筆（まんねんひつ）と神経毒（しんけいどく）」さんのJeux bleu（ジュゥブルー）とスィニヤです。

この作品はDL販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

盲目の少女、ヴェーラ・ミラーノヴナ・ルノヴァは人知（ひとし）れず湖（みずうみ）で溺（おぼ）れ、命を落とした。

彼女の死体は見つからず、捜索も打ち切られたが、

クリック

友人、ラリサ・ヴィターリエヴナ・エシリナだけは彼女を探し続けた。

クリック

ラリサは湖（みずうみ）でヴェーラと「瓜二（うりふた）つ」ながら体が透明な生き物に出会う。

クリック

ラリサはその生き物に「スィニヤ」と名付け、言葉を教える。

「雪に閉ざされ、湖まで行くことができない冬」を越え、春になって再会したスィニヤは、

出会ったころの「反応の薄さ」が嘘のように、話し、思考し

……そして、ラリサへの「執着」という「気持ち」を持つようになっていた。

ちなみに私の今の気持ちはラリサたちのフルネームを（どちらか言う）

**「ちゃんと言えてよかった」/「言い間違えてくやしい」**です。

…………魂を巡るスラヴ的幻想ADVとのことで、

スラヴの民間伝承をベースにしたファンタジー。

クリック

溺れ死んだ少女の血肉、そして骨をもとに生まれた「スィニヤ」がラリサに会いに、村にまで現れます。

当然、村人に見つかったら大事（おおごと）になりますが、

クリック

生まれてから一年もたっていない「スィニヤ」には命（いのち）や世間（せけん）といったものがよく理解できず、

短絡的（たんらくてき）で暴力的な行動を取りがちです。

そんな野蛮で向こう見ずな面と、

ひな鳥のようにラリサを求める「無垢で一途」な面を併せ持つスィニヤが危ういんですが、

話が進むにつれどんどん感情豊かになっていき、読んでいてすごく「可愛い」と思えました。

クリック

ラリサは結構小物っぽくて、スィニヤを下に見ていい気分になったり、スィニヤに自分の常識を押し付けたり、

優柔不断（ゆうじゅうふだん）だったりもしますが、

クリック

スィニヤと二人で仲良くしている場面は微笑ましかったです。

そうした二人の関係や、人ではない者の成長、ラリサの人間臭い内面、

さらには厳しくも美しい自然、といった描写が、時には生々しく、時には幻想的に描かれていて、

生々しい部分も含めてテキストが美しく、読んでいて心地よく感じられました。

BGMは湖や雪、草や木、あるいはスィニヤ自身の「水気（みずけ）」を感じさせる美しい曲や、

スィニヤに振り回されて千々（ちぢ）に乱（みだ）れるラリサの心情を思わせる不安や異変の曲など、

物語によく合っていました。

クリック

横に長い画面も特徴的で、意図してかどうかは分かりませんが

左右に立ち絵が表示されたときに両者の「心の乖離（かいり）」を感じられましたし、

クリック

逆にこう寄り添っているときの近さも印象的でした。

異なる生き物ながら、愛情や執着を持つようになった二人がどのような結末を迎えるのか。

その一部始終を、この世界にのめりこむようにして見届ける、

そうさせるほど魅力的な音楽、ビジュアル、そして文章の作品でした。

クリック

心、短編部門

スーパー担々麺（たんたんめん）ワールドさんの夜半に道連れ（よわにみちづれ）です。

この作品はフリーソフトです。

クリック

結婚していることを隠した男にもて遊ばれ、捨てられ、殴られた向かって右側、塩路あさひ（しおじあさひ）と、

その男と結婚していてモラハラや暴力を受けていた向かって左、霞上 佐枝子（かすがみ さえこ）が、

クリック

その男の死体を埋めに行き、その帰り道の話。

死体埋め女女（おんな・おんな）巨大感情ノベルとのことで……すごいジャンル名ですね。

初対面の、それも男に浮気（うわき）された「佐枝子（さえこ）」と、

結婚を知らなかったとはいえ男の浮気相手の「あさひ」、二人が、共犯者となってしまう。

けれど雨が降る夜、車の中にいる二人を誰も気にしない。

……そして二人の罪を、まだ誰も知らない。

クリック

奇妙な連帯感の中で交わされる会話は、それぞれの内側に深く潜っていくようで、

息を呑（の）みながらも目が離せませんでしたし、

対照的（たいしょうてき）なのに、お互いが「お互いの求めてやまなかったものをくれる」という、

パズルのピースがぴったりとはまる関係が、危ういゆえに綺麗でした。

クリック

しかし、暗いからこそ見つからずにいれた雨の夜は明け、陽の光が全てを暴こうとしてきます。

三種類の結末があるのですが、すでに罪を犯しているわけで、何もかも解決する結末はありません。

二人には他に頼れる人もおらず、極端な考えに至ることもあります。

クリック

でも、良くないかもしれませんし、押し付けかもしれませんが、

どの結末でも「相手のため」の行動があって、

「あさひ」と「佐枝子（さえこ）」の切実で、懸命な感情が心に響きました。

クリック

それにしても雨の日の夜、車の窓から外を見たときに見える「にじんだ明かり」ってエモいですよね。

本作では半分以上の場面でそんな背景になっていて、いいな……と思いました。

クリック

ですが制作者様が「外の風景を描きたくなかったが故の純粋な手抜き」で

「スチルでも死ぬほど使い回してる」などと供述（きょうじゅつ）しております。

…………ま、見えなかったり、気付かなかったりする方（ほう）が良いことって、世の中たくさんありますよね！

クリック

たとえばこの左下にハンドルが映っていて右ハンドルの車なのに、

クリック

こっちでは左ハンドルになってるのとかも、気付かない方がいいですよね！

クリック

心、熱、楽、爆笑部門

solophilia（ソロフィリア）さんの「PaintPain（ペイントペイン） ～少女はメイドの手をとって～」です。

この作品はフリーソフトです。

金持（かねも）ちの家で育った「世間知らずの陰キャ引きこもり」、六華嗣治（りっか　つぐはる）は、

クリック

一族が設立した「美術専門」女子校の生徒、

月崎若葉（つきさき　わかば）が描く美人画（びじんが）に一目惚れし、パトロンとなる。

クリック

しかし、ただお金を出してもらうだけでは気が済まない若葉（わかば）は、メイドとして屋敷の家事をすることに。

クリック

そこへ、嗣治（つぐはる）の親戚（しんせき）で若葉（わかば）の絵に憧れている茶山（さやま）モカと、

クリック

そんなモカが大好きな黄原（きはら）めるがやってくる。

モカは若葉に弟子入り志願。若葉はモカに絵のモデルを依頼するのだった。

絵を描く者の百合作品。

様々なものを投げ打ってでも理想の美人画（びじんが）を描こうとする若葉、

クリック

止まることを恐れるほどに見定めたものを追い求めるモカをはじめ、

登場人物みんな、芸術に対する抑えきれないほどの「衝動（しょうどう）」を抱えていて、

それが露わになる場面の数々に、読んでいて胸が熱くなりました。

クリック

同時に、そうした衝動は冷静に見ると「奇行（きこう）」でもあります。

この若葉の、「気持ち悪い」表情を見てください。

ヒロインがしていい顔ではありません。笑えました。

しかし楽しいだけではありません。

みんながやりたいように行動すると、当然すれ違いや衝突も起こります。

そうした関係性も読みごたえがあり、

若葉とモカの百合を堪能できました。

クリック

……百合は、いいですよね。

序盤のキスシーンや、

クリック

若葉の寝顔など、ビジュアルも目を引くものでした。

クリック

立ち絵がある女の子はみんなメイド服を着るのも素晴らしかったです。

クリック

あとこの場面、すごくいいシーンなのですが、輪郭がぼやけている所や、背景の星空から

私は宇宙猫（うちゅうねこ）が無茶（むちゃ）しやがって……と言っているシーンが頭をよぎってしまいました。

クリック

助演男優部門、六華嗣治（りっか　つぐはる）

本作の半分くらいは彼の視点で進みます。

「主演」かもしれません。でも、最高の「助演」でした。

若葉のパトロンとなり、モカにも気前よくお金を渡し、

二人が「すれ違ってしまった」ときは影ながら背中を押し、

百合に挟まろうというそぶりを欠片（かけら）も見せず、裏方に徹してくれました。

まあ、若葉の絵を見て「周囲を顧（かえり）みず」感動に打ち震える様子は若葉から変態と言われ、

クリック

モカからは気持ち悪いと蔑（さげす）まれるのですが、

彼もまた、「芸術を見出（みいだ）そうとする衝動」に突き動かされる人でした。

クリック

助演女優部門、黄原（きはら）める。

彼女もまた芸術家で、自分の気持ちを「キャンバスに収（おさ）まりきらないほど」に描（か）く奔放さが魅力的でした。

クリック

モカの同級生で、モカのことが大好きなのですが、モカは若葉のことが好き、ということで若葉はライバル。

けれど終盤、そんな若葉を叱咤する場面がひたすら格好良かったです。

クリック

笑いあり百合あり。

そして運命を変え、世界を塗り替えるほどの「衝動」が込められた、心震える物語でした。

クリック

心、ＢＧＭ部門、シンセティックガールさんの「つきうみ」です。

この作品はDL販売で入手可能です。

クリック

穂月銀子（ほづきぎんこ）には、「走ること」しかなかったのに「走ること」ができなくなってしまった。

ただやり過ごすような日々を送っていたある日、

クリック

美術室（びじゅつしつ）で一枚の絵（え）を目（め）にし、見惚（みほ）れ、

作者である同級生、六文蒼（ろくもんあおい）を探し出し、会話を試みる。

クリック

そんな銀子（ぎんこ）に何かを感じたのか、蒼（あおい）は銀子（ぎんこ）を「秘密の居場所」に案内するのだった。

クリック

河川敷の、本名（ほんみょう）や身元（みもと）を明かさなくてもいい秘密の場所で、銀子（ぎんこ）は蒼（あおい）や、

クリック

ホームレスのサンチャゴ、仕事をサボっているツムギ、

クリック

迷い込んできた犬のマノーリンたちと過ごしていきます。

そこはとても居心地のいい場所で。

様々な柵（しがらみ）から解放されて過ごす時間は、「いいなあ」と心底思えました。

クリック

写真背景に登場人物が描かれたビジュアルもあり、

よりいっそう、「こんな場所があってほしい」という気持ちになります。

クリック

BGMも、そんな気持ちを体現するかのように、

肩の力を抜いて心地よく聞くことができる曲が多かったです。

それだけに不穏な曲が流れたときの緊張感もひとしおでした。

クリック

本作は「重力についての話」です。心が感じる、あるいは感じられない、「重力」

詳細はとても伝えきれないので本編を読んでほしいのですが、

秘密の場所での交流を通（とお）して、重く停滞していた銀子（ぎんこ）の心境が変化していく様子が

愛（いと）おしく思えるほど丁寧に描かれていました。

そして変化のきっかけになった蒼（あおい）が抱（かか）えているものに、

「お節介（せっかい）かも？」と思いながらも、踏み込めるようになった銀子（ぎんこ）

そんな二人の関係が尊（とうと）かったです。

クリック

周囲の人たちも、銀子（ぎんこ）と蒼（あおい）の悩みを直接解決することはできずとも、

実際の行動や、心配する気持ちで支えてくれました。

クリック

こんな居心地（いごこち）の良い場所があったらいいですが、

あったとしても、現実でも、そして作中でもずっとそのまま、ということはありえません。

けれど、囚（とら）われすぎずに、無かったことにもせずに、また別の形で居場所を作りたい、そう思えました。

クリック

短編、ＢＧＭ部門、シンセティックガールさんの「サブレキャットヘヴン」です。

この作品はフリーソフトです。

クリック

幼馴染のタカヒロとニヤは、子供の頃に拾った猫「サブレ」を大切にしていたが、

ある年（とし）の夏に「サブレ」がいなくなってしまった。

クリック

代わりに現れたのは、「サブレ」が好きだった魚の名前ばかり言う猫耳の少女。

クリック

前後するように、病気療養中だったタカヒロの姉、キッコも戻ってくる。

クリック

……誰も口には出さないけれど、その年の夏は、別れの予感に満ちていた。

クリック

おすすめ同人紹介による同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2021心部門、短編部門受賞作「つくも３回サンク」と、

クリック

2023年短編部門受賞作「アリスニャットシング！」と同じ世界観の話。

「つくも３回サンク」とは関わりが薄めで、「アリスニャットシング！」よりも前の話なので

本作から読み始める、というのもありかもしれません。

クリック

たぶんどこから読んでも、「アリスニャットシング！」のニヤと、

「サブレキャットヘヴン」のニヤの違いにびっくりします。

クリック

話は、タカヒロ達だけでなく町の人も、猫耳少女サブレが人間ではない、と気づきながら、

大事（おおごと）にならずに会話が進んでいくのがゆるくて肩ひじ張らずに読めるのですが、

クリック

同時に、最初から最後まで「死」が付きまとってきます。

BGMもゆったりとした曲調ながらセミの音やノイズが入った曲が多くて、

クリック

そうした曲が流れる場面では、もう覆（くつがえ）せない、

「やがて過去になってしまう話」であるという感傷と歯がゆさを感じました。

クリック

他に、ひび割れ、きしみ、ゆがんでいくような嫌悪を覚える曲もあり、

その場面では息苦しさを覚えます。

クリック

そうした静かだったり、重たかったりする中盤までとは打って変わって、

終盤はスピード感のある曲が流れ、猫耳大戦争といった感じにドタバタな展開になるのですが、

大騒ぎをしたからこそ、「もう二度と会えない別れ」に区切りを付けることができる、そう、思えます。

クリック

残された者にも、いなくなる者にも優しい、そんな物語でした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）熱部門、

クリック

nalumille（なるまいる）さんの「繋（ツナ）グテ　朱殷（アカ）イテ＿創（ソウ）」です。

この作品はフリーソフトです。

小説を書いている雪代雨璃（ゆきしろ　あめり）は

クラスメイトの渡久地夏凪（とくち　かな）と羽佐間和義（はざま　かずよし）が

「旗頭（はたがしら）」の練習をしている場面を目撃する。

写真出る

二人から勧誘され、小説のネタにもなると一緒に活動することに決めた雨璃（あめり）は

旗（はた）づくりや演舞（えんぶ）の経験をモデルに旗頭（はたがしら）の小説を書いていくのだった。

チアガールあめり

「旗頭（はたがしら）」とは6メートルほどの竿（さお）の先に「とぅーるー」というものをつけた重さ数十キロのもので、

お祭りなどで一人一人受け渡しながら練（ね）り歩（ある）く「沖縄の伝統」です。

夏凪

雨璃（あめり）はそれまで旗頭（はたがしら）に関わってこなかったため、

彼女を通（つう）じてプレイヤーも旗頭（はたがしら）の情報や練習の仕方、

本番の心境などを一つずつ知ることができました。

走れ

雨璃（あめり）は旗頭（はたがしら）をネタにして小説を書いているだけあって、

経験したことをどう小説に生かそうか、という観察者な立ち位置です。

歌名

彼女を誘った夏凪（かな）と和義（かずよし）の方が王道の主人公とヒロインをしていました。

ですが、雨璃（あめり）が真剣でない、ということは全くなく

仲間たちとぶつかったり励ましあったりして、

時には失敗することもあり、水着でイチャイチャすることもあり、

けれど手のひらの豆が潰れるほど練習し、本番を迎（むか）えます。

クリック

こんなにも大きく、重たく、

そしてみんなの想いが詰まった「旗頭（はたがしら）」を持ち上げ、演舞する。

ここぞという場面で流れる音楽や、

クリック

気合の入ったグラフィックも相まって、

青春の輝きに胸が熱くなりました。

クリック

ですが。

小説のモデルとしていた、雨璃（あめり）と友人たちの活動。

それすらも創作（そうさく）の世界かもしれない、と示唆される場面があります。

「旗頭（はたがしら）」に打ち込む青春物語としては一区切りつきますが、

過去作から繋（つな）がる「創作にまつわる物語」としては……次回作を待つ必要がありそうです。

クリック

助演男優、助演女優、穏やか、短編部門

ミルクホウルさんの「三人ぼっちの世界なら」と大地（だいち）、水希（みずき）です。

この作品は15歳以上推奨フリーソフトです。

クリック

母親から虐待され続け、殺（ころ）されそうになった少女は、

クリック

キャンピングカーで通りかかった男女二人に助けられる。

名前さえあやふやになっていた少女は自分のことをシロと名乗り、

どこかへ行く途中だった二人、

大地（だいち）と水希（みずき）の旅に同行することになるのだった。

訳あり男女と家出少女の、ほのぼの+サスペンス。​​

訳あり、ということで、三人みんな、

穏やかではない過去と、未来への不安を抱いています。

クリック

しかしその上で、三人の旅はとても心地がよく、

シロは学校にも行かせてもらえなかったために一般的な知識がほとんどありませんが、

素直で真っすぐで、ちょっとしたことで嬉しそうにしてくれて、守りたい、と思えました。

カレーを食べただけでこんな顔をしてくれたら、もう可愛（かわい）がらざるをえません。

クリック

そして助演男優部門、大地（だいち）と助演女優部門、水希（みずき）

大地（だいち）は塾講師、水希（みずき）は美容師で、

とある目的のためキャンピングカーで旅をしています。

二人は虐待されていたシロを助けたとはいえ、

母親にも警察にも無断で連れまわします。

それは二人が抱える理由のためで。

大地（だいち）がこう言っているように、大人として正しくないことです。

けれども、シロを救うためには正しい事でした。

クリック

本作は三種類の結末があり、

終盤の選択肢ではノーマルエンドとトゥルーエンドに分岐するのですが、

どちらを選んでも、シロが幸せになることは変わりません。

なぜなら、大地（だいち）と水希（みずき）が三人での旅の中で、

シロに愛を注（そそ）ぎ、「自分を大切にすること」や「将来がある」ということを伝えてくれたから。

その、「シロは二人に助けられた時点で救われていた」という事実が、私は大好きです。

クリック

三人ぼっちの世界は穏やかで、悪い人もいなくて、余計な「しがらみ」もなくて。

ずっとそこに居たくなります。

しかし社会に生きている限り、その願いは叶わず、変わることは避けられません。

けれどもよりよい未来に向かいたい、そんな前向きさを感じられる作品でした。

クリック

楽部門、

MCC東日本Zero（エムシーシーヒガシニホンゼロ）さんの

「青（あお）い夏（なつ）と黒（くろ）い猫（ねこ）」です。

この作品はDL販売で入手可能です。

クリック

瀬川　博司（せがわ ひろし）は妹のさつきや、

クリック

幼馴染で喫茶店を経営している桐葉　かすみ（きりは かすみ）と仲の良い日々を送っていた。

クリック

ある日、公園で小学生の椎名　あゆみ（しいな あゆみ）と出会う。

紆余曲折（うよきょくせつ）の末（すえ）、あゆみと暮らすことになった博司（ひろし）

クリック

そこには、「過去（かこ）の自分たちと同じ思いをしてほしくない」という気持ちがあった。

夏を舞台にしたハートフルでちょっと切ない物語。

クリック

かすみはちょっと抜けているけれども優しくて包容力があり、

クリック

さつきは兄である主人公が大好きなブラコン。

主人公もさつきのことが大好きなシスコンで、お似合い兄妹（きょうだい）でした。

クリック

あゆみは元気いっぱいで、あと小学生なのでちっちゃくて、小学生なので成長も早くて、

小学生なので些細なことで機嫌を損（そこ）ねることもあって、そんなところも小学生なので可愛くて……。

そんな四人で過ごす夏の日々がとても楽しかったです。

クリック

また、プロローグでは主人公、さつき、あゆみの幼いころが描かれていて、

クリック

悲しい場面は胸が痛むのですが、

クリック

秘密基地でかくれんぼしたり、

スーパーボールがどこまで跳ねるか競争したり、カブトムシを捕まえたり。

子供らしい遊びをする三人がとても微笑ましかったです。

過去編はこのように立ち絵がシルエットなのですが、

彼らのはじけるような笑顔が「目に見える」ようでした。

……ちなみに過去編でバックログを表示させると、

クリック

左側に大人バージョンの顔が表示される仕様（しよう）です。

……「目に見えるよう」って、そう意味じゃないんですが。

とはいえ、大人の見た目で子供の遊びの相談をしているように見えてしまうのは

……幼児退行（ようじたいこう）っぽくて、それはそれで面白かったです。

クリック

見えてる？まで待つ

歌曲、ＢＧＭ、特殊効果部門、『縋想（ついそう）』プロジェクトさんの

Near-Death-Expedition（ニア　デス　エクスペディション）です。

この作品は通信販売、ダウンロード販売で入手可能です。

新卒で入った会社を辞めた主人公は、

深夜、動画サイトで真っ白なサムネイルの配信を見つける。

視聴者は自分一人だけ。

タイトルロゴが出る

真っ白な画面からは、戸惑う声が聞こえてきた。

……翌日、配信者からメッセージが届く。

その内容は、自分を「VTuber「終乃（おわりの）りんね」としてプロデュースしてほしい」というものだった。

VTuber（ブイチューバー）×SF（エスエフ）×終末世界ADV

たぶんだけどここって

チャットや通話で企画の提案をしたり、りんねの悩みを聞く「通話モード」と、

りんねの配信を視聴する「配信モード」を切り替えながら、

終末系VTuber（ブイチューバー）「終乃（おわりの）りんね」の活動をプロデュースしていきます。

配信の内容は雑談、歌、ASMRなど様々。

りんねのアバターがアニメーションし、コメントが流れる演出がされていて、

まさに「VTuber（ブイチューバー）の配信」でした。

ちなみに、りんねが抱えている白い生き物の名前は「非常食」です。

選択肢

歌枠でも歌われる主題歌「天使は声変わりしないって知ってた？」は

作中の内容だけでなく現実のVTuberに関することも連想させられます。

音楽も有機的なイメージとバーチャルなイメージが混ざり合ったもので、より、話に没入することができました。

VTuberはどこから来たのか。VTuberとは何者か。VTuberは、そして我々はどこへ行くのか。

その結末は大きく分けて二種類あり、全く異なる、しかし関連性を考えざるを得ない内容でした。

切り替わる

本作はイヤホンやヘッドホンが推奨されていますが、

推奨でなく「必須」であると言いたいです。

りんねのボイスが聞こえたとき私は「同じ世界に彼女が居る」と感じました。

そう思ってしまうほど、音による「臨場感」にこだわって制作されています。

ただ、この紹介では音質とか私の声がノイズになるとかで、

良さをまったく伝えられていません。

スタッフ名

なので、実際に入手して。

イヤホンやヘッドホンを着用して。

VTuber「終乃（おわりの）りんね」の活動に協力し、見守り、見届ける「体験」を味わってください。

サークル名言ったらクリック

歌曲、ＢＧＭ部門、

→Quantize\_（クオンタイズ）さんの

朱色に染まる、美しき社で（あけいろにそまる　うつくしきやしろで）です。

この作品はダウンロード販売で入手可能です。

→Quantize\_（クオンタイズ）さんといえばまずこの起動からタイトル画面までが素晴らしいですね。

サークル名などが表示されたのち、タイトル画面が表示される、

それが美しい音楽と完全に同期していて、いやが上（うえ）にも本編への期待が高まります。

クリック

高校二年生の霧生優輝（きりゅうゆうき）は

従姉（いとこ）の真田杏子（さなだきょうこ）の家で夏休みを過ごすことになる。

趣味の風景画（ふうけいが）を描く場所を探して、たどり着いた神社で、凛という着物姿の少女と出会った優輝（ゆうき）。

たびたび神社へと通ううち、二人は親しくなっていくのだった。

歌始まる

夏の田舎を舞台に女の子と仲良くする物語。もうこれだけで、いいシチュエーションですね。

先ほどのタイトル画面の曲など和風な曲だけでなく、

様々なジャンルや曲調のBGMがあり、その数二十五曲。そしてすべてオリジナル。

なかでも私は、夏の終わりの寂しさを感じさせる曲がお気に入りです。

凛

さらに今流れているＯＰの歌だけでなくＥＤにも歌があり、

ＯＰは元気いっぱい、ＥＤは切なくも力強い歌声で物語を彩っていました。

-行く-

三人の女の子もみんな可愛くて、メインヒロインの凛はもちろんなんですが

従姉（いとこ）の真田杏子（さなだきょうこ）がスポーツ万能で気さくで健気（けなげ）で、

さらにアニメ好きなエロ同人作家という属性もりもりで、

こんなの好きになっちゃうよ！　とまんまと虜（とりこ）になってしまいました。

しかしそんな私を絶望が襲います。

なんと本作品は一本道で杏子（きょうこ）ルートは存在しないのです。

なんてことだ！　と嘆（なげ）きました。

クリック

ちなみに→Quantize\_（クオンタイズ）さんは過去作の「臨界天（りんかいてん）のアズラーイール」に

この、長島麗美（ながしまれいみ）さんというメインヒロインではないとても魅力的な人がいるのですが、

クリック

またか！　と思いました。

なんでメインヒロインだけでなくサブヒロインも魅力的に描（え）がいてしまうのか！

これはアナザーストーリーがないと許されない……というのが勝手すぎる私の願いです

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）歌曲部門

クリック

七夕（たなばた）プラネットさんの「デザイアフラワーズ」です。

この作品は通信販売、DL販売で入手可能、体験版もあります。

タイトルが出る

打ち込んでいた部活を辞めてしまった高校二年生、千葉朔（ちば　さく）は、

先輩で生徒会長の小茉崎恋莉（こまさき　こゆり）と出会う。

生徒会活動を手伝っていく中で、幼馴染の朱峰蘭（あかみね　らん）

一年の時にクラスメイトだった桜庭叶（さくらば　かなえ）、

後輩で「はとこ」の藤宮凪零（ふじみや　ながれ）とも仲を深めていく。

やがて彼女たちが抱（かか）える悩（なや）みに触（ふ）れる主人公。

しかし、そこに「魔女（まじょ）」という存在が関わってくるのだった。

いま咲きほこれ

花（はな）と魔法（まほう）の学園（がくえん）美少女（びしょうじょ）ゲーム。

選択肢によって各ヒロインルートに分岐し、

全てのルートを読み終えるとグランドルートへ、という構成。

いま咲きほこる

いま、流れているOPの歌は、これから待っている青春、

そして「可愛い女の子たちと過ごす日々（ひび）」への期待に、ワクワクさせられましたし、

さらになんと、四人のヒロイン全員に異なるエンディングの歌があります。

どの歌も、そのヒロインやルートの内容に沿った良い歌で、

（終わったらクリック）

中でも私が好きなのは、生徒会長の恋莉（こゆり）先輩ルートの歌「Lily（リリィ）」、

夏（なつ）の海（うみ）を舞台にした「これぞ青春」という歌詞と、

一緒に体（からだ）を揺（ゆ）らしたくなるような、

小気味（こきみ）の良（よ）い曲調（きょくちょう）でお気に入りです。

お気に入りと言えば恋莉（こゆり）先輩もで、

クリック

ちっちゃい体で生徒会長として働き、明るく、気さくで頼りになる先輩なのですが、

この照れて、「むずがゆそう」になる口元がめちゃくちゃ可愛くて大好きです。

クリック

恋莉（こゆり）先輩ルートは、彼女の抱える問題は結局解決しない、という、

ともすれば消化不良になりかねない内容ながら、

「解決できないこと」に固執（こしつ）せず、

「今（いま）、できること」に向き合える「恋莉（こゆり）先輩の強さ」として描かれていて、

よりいっそう、恋莉（こゆり）先輩の魅力が伝わってきました。

クリック

恋莉（こゆり）先輩以外のヒロインもみんな可愛くて、

彼女たちと、「とても華（はな）やか」で「ちょっと不思議な」学園生活を送ることができる作品でした。

クリック

ここで休憩です。再開は10分後となります。→それでは再開いたします。

泣き、ＢＧＭ部門、ゆうやけフォカマイユさんの（カゲヒナタを一気に言い切る）「カゲヒナタノ詠（うた）」です。

この作品はダウンロード販売で入手可能です。

小説家志望（しょうせつか　しぼう）ながら落選続きの桐谷陽向（きりや　ひなた）は、

クリック

夏休み、神楽坂詠（がぐらざか　よみ）と名乗る少女と出会う。

陽向（ひなた）の小説を読んだ詠（よみ）は彼が焦りを抱いているのを感じ、

夏休みは一緒に遊ぼうと提案してきたのだった。

こちら、序盤で二人が出会うシーンなのですが、こんな笑顔ののち、

クリック

覗き込むようにして名前呼びを求めてきます。

もうここで私は、彼女のことが大好きになってしまいました。

チョロいです。

でも、この距離の詰め方ずる過ぎだと思います！

夏の田舎でボーイミーツガール、

クリック

そして「夢（ゆめ）」が関わってくるお話。

詠（よみ）とは「水族館」や「海」や「夏祭り」などで遊びます。

出会いからそうなるまでの経緯は、

タイトル出る

お金を持っていなかった「詠（よみ）の食事代」を主人公が立てかえ、

それを返すため、と言って詠（よみ）は主人公の家に押しかけ、

主人公が書いた小説を見つけ、

流る風が

読んで、ダメ出ししたのちに、「一緒に遊ぼう」と言ってくる、というもの。

……かなりあやしく、そして強引な行動なのですが、

一緒に遊ぶうちに、主人公は彼女のことをどんどん好きになっていきます。

散らばる紙に

こいつチョロいな……と思いつつ、

私も、序盤ですでに、彼女のことが大好きになっているので「まったく」人のことを言えません。

白いワンピースとか、水着（みずぎ）とか、浴衣（ゆかた）とかも百点満点です。

BGMも温かかったり切なかったりそれぞれの場面に合っていて、

夕時には

ここぞという場面ももちろんですが、

日常シーンで流れる曲も心地よくて、「最初から最後まで」物語にひたることができました。

あなたと二人

そして終盤。

二人の想いが通じ合いつつも、ある事情で完全なハッピーエンドとはなりません。

それがどうしようもないことだ、と納得させられるもので、だからこそ「より切なかった」ですし、

緑色の切符を持ち

最後の最後、「もしかして」と期待を残してくれて、「とても」良（よ）い終わり方でした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）独創、歌曲部門、そして前作「さくらいろプリズム」で

「おすすめ同人紹介による同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2022」ムービー・動画部門、受賞。

クリック（一拍置く）

blooming spectrum（ブルーミング・スペクトル）さんの「さくらいろテトラプリズム」です。

この作品はDL販売で入手可能です。

神奈川県で写真部に所属している高校二年生の賢木 光（さかき ひかる）、

幼馴染の柏木 葵（かしわぎ あおい）、

後輩の明石 澪（あかし みお）、先輩の須磨 初音（すま はつね）の四人は、

半年間、秋田県の高校に国内留学（こくないりゅうがく）することになる。

バイオリン始まる

そこで事務所から干されている高校生アイドル、桐咲 春花（きりさき　はるか）と出会った彼らは、

秋、そして冬を秋田の地で過ごすのだった。

という恋愛ファンタジーアドベンチャーゲーム。

ジャンルに「ファンタジー」とついている通り、ストーリー上でも非現実的（ひげんじつてき）な出来事が起こります。

窓辺に焼き付いた

現在ご覧いただいているムービーも幻想的で、一つ一つの構図（こうず）が目を引き、心動かされます。

美しいバイオリンの音色や、「秋から冬にかけて増していく冷気」を感じさせる歌声も本作に合っていました。

ちなみにヒロインの一人がアイドルなので、作中にライブで歌う場面もあります。

銀色に

「恋愛ファンタジー」のもう一方、「恋愛」ですが、各章の終盤ごとに「後味の悪い」展開が待っています。

前向きな場面もあるのですが、それがかえって重苦しい場面との落差になっています。

風に舞うコスモス

ギクシャクして、ギスギスして、居心地が悪くて。上手くいかない「人間関係」と「恋愛」を何度も突き付けられました。

本作は「さくらいろプリズム」の続編ですが、

前作を遊んでいない方でもお楽しみいただける、と公式サイトに記載されております。

その通りではあるのですが、やはり両方プレイしてこそ、より堪能できるというもの。

大丈夫怖くはない

『さくらいろプリズム』は現在も入手可能ですが、ディレクターズカット版が2025年に発表予定とのことで、こちらも注目です。

「さくらいろテトラプリズム」に勝（まさ）るとも劣（おと）らない、青春と、ギクシャク、ギスギスする恋愛を味わうことができます。

あんまり暗い話ばかりするのも何なので前向きな話もしましょう。

本作は秋田県のご当地作品として読むこともできます。

クリック

秋田駅（あきたえき）、玉川温泉（たまがわおんせん）、男鹿半島（おがはんとう）、

クリック

映画『君の名は。』（きみのなは）に登場する駅のモデルがあると言われる秋田内陸線（あきたないりくせん）など

クリック

秋田県の様々な場所を登場人物たちが訪（おとず）れます。

クリック

私は昨年（さくねん）二回、秋田に行ったので、読んでいて、ここで彼らが……と感慨（かんがい）に浸（ひた）っていました。

クリック

ロジック、ムービー・動画、歌曲、ＢＧＭ、特殊効果部門

SCIKA（シカ）さんのInverted Angel（インバーテッドエンジェル）です。

この作品はDL販売で入手可能です。

クリック

インターホンが鳴り、モニターを見ると玄関先に見知らぬ女の子が立っていた。

けれど彼女は自分が恋人だと言ってくる。

彼女の正体は、何者なのだろうか。

……女の子とモニター越しに会話しながら正体を探っていく、

Kawaii（カワイイ） Future（フューチャー） Mystery（ミステリー）

自由入力推理システム

本作は選択肢ではなく自由入力推理システムとなっていて、

入力した文章を大体のニュアンスで判断してくれます。

で、彼女ちゃんの正体がストーカーかも？　と思ったり

自分の方が記憶喪失でやっぱり恋人かも？　と想像したりでシナリオが分岐。

彼女ちゃんの正体をはじめとした謎を推理し、

最終的には十個以上の異なる真相に到達します。

歌始まる

哲学的なことを言ってきたり、

こちらの心理を読んできたりする博識（はくしき）な彼女ちゃんのセリフがロジカルで、

……かと思えば抑えきれない気持ちが噴き出すマシンガントークもあって、

彼女ちゃんに興味を抱かざるを得ない会話テキストが魅力的でした。

恋する気持ちをまくし立てるように語り掛けてくるのが本編と同じだ、と圧倒されるこの主題歌、

キラキラ可愛らしくて小悪魔っぽくて、作中で流れるタイミングが印象的なムービーもお気に入りです。

クリック

なお、ムービーはこの後の休憩時間に流しますのでそちらもご覧ください。

音楽は夜のまったりとした雰囲気の曲から、

彼女ちゃんの早口を体現するせわしない曲まで様々で、より、それぞれの場面を強調していました。

クリック

また、作中で登場する「煮込みバームクーヘン」や「ジャンバラヤ博物館」といった謎のワードも頭にこびりつきます。

実際に「煮込みバームクーヘン」を作った、なんていう方も数多くいらっしゃるようで。

クリック

自由入力推理システムによって枝分かれするストーリー、

彼女ちゃんとの、頭がよくなった気がする会話、

彼女ちゃんを体現するような音楽やムービー。

……とても得難（えがた）い、体験でした。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）

泣き部門、Cynical Honey（シニカルハニー）さんの「終（お）わりの鐘（かね）が鳴（な）る前（まえ）に」です。

クリック

この作品は同人ショップ、ダウンロード販売で入手可能、体験版もあります。

夏休みに交通事故で入院した高校生の長谷部涼平（はせべ　りょうへい）。

彼の前に死神を名乗る少女モトが現れ、

大晦日（おおみそか）までにクラスメイトの菅野雪乃（かんの　ゆきの）を幸せにしろと告げる。

できなければ、涼平（りょうへい）は死（し）ぬ。

タイトル名消える

どうすれば幸せになるかを考えた涼平（りょうへい）は、彼女の恋を叶えることになる。

その相手は、涼平の幼馴染、日高進（ひだか　すすむ）だった。

過去が原因で幸せになってはいけない、と自分を縛っている主人公が、

クラスメイトの少女を幸せにしようとする現代を舞台にした学園恋愛ファンタジー。

雪の結晶が降る

チャプターワンからスリーまでの三章構成で、主人公以外フルボイス、

各チャプターごとにＯＰムービーがあり、ＥＤや挿入歌も含めて歌が計八曲、

プレイ時間は私の場合二十五時間という大作（たいさく）です。

OP歌名が出る

主人公の周りにいる人たちがみんな優しくて、主人公も困っている人を放（ほう）ってはおけなくて、

そんな彼らに愛着を抱（いだ）きました。

私が特にお気に入りなのがチャプターツー終盤。

主人公の過去が悲しく切なく、

「過去に関わった相手」から向けられる憎（にく）しみに胸が苦しくなり、

イルミネーション

打ちのめされた主人公への雪乃（ゆきの）の叱咤（しった）が心強く、

そして最後に明かされる真実に意表を突かれ。

一連の出来事に引き込まれました。

サークル名

チャプターワンからずっと彼らを見続けた末のチャプタースリーのラストもまた、感慨深かったです。

クリック

それから現代が舞台だけあってみんなスマホを持っていて、メッセージアプリで会話する場面もあります。

スタンプ送ったりもします。……しかし、一つ気になるところがあります。

クリック

それは、全員アイコンが「名前の文字」だけだということです。

クリック

あまりにも武骨（ぶこつ）すぎます。

クリック

イマドキの高校生って、アイコンこんな感じなんでしょうか？

クリック

有識者の方がおられましたらお教えください。

クリック

闇、歌曲、ＢＧＭ、美術部門、パラドラストさんの「眠（ねむ）れヘリオトロープ」です。

この作品は現在入手手段はありません。

クリック

小学生のころ、問題児（もんだいじ）だった後藤（ごとう）アヤチカは、

とある出来事のあと、心を入れ替えたかのように勉強し、成績至上主義（せいせきしじょうしゅぎ）の

私立中学校（わたくしりつ　ちゅうがっこう）に首席（しゅせき）入学する。

クリック

そこで小学校のクラスメイト、夏見七々花（なつみ　ななか）と再会し、

クリック

先輩の小暮未緒（こぐれ　みお）と三人で、委員会活動に打ち込む。

クリック

しかしその中学校では、連続で赤点（あかてん）を取ると退学（たいがく）させられるという噂があった。

前半は委員会活動として、学童保育（がくどうほいく）の小学生に見せる紙芝居を作っていきます。

クリック

問題が発生することはあれど、

クリック

試行錯誤したり悩んだりしながら目的を達成してくれて、

充実した学生生活を味わえました。

クリック

しかし後半。思い通りにいかないことばかりが起こります。

委員会活動が大切な「成功体験」だったからこそ、落差がつらいです。

未緒（みお）先輩が残す爪痕（つめあと）、

クリック

憔悴していく七々花（ななか）、

なんとかしようとするも、うまくいかない主人公。

彼らを見ているだけで息苦しく、目を背けたくなりますが、同時に目が離せませんでした。

七々花（ななか）の立ち絵や、

クリック

このタイトル画面、それに一枚絵など、綺麗ながら危ういグラフィックも目を引きますし、

ＢＧＭも静かで美しく、同時に閉塞感（へいそくかん）に満ちていました。

このエンディングの歌も、「救（すく）いと諦（あきら）めが入り混じる結末」にふさわしい歌です。

クリック

ちょっと勉強ができても、どうにもならないことばかり。

無力で、けれど全力で生きる。

危うくて目が離せない「中学生」という時間がここにありました。

クリック

あと、本作をプレイする際、一つだけ注意があります。

セーブ画面、右下のバツは戻るボタンです。その左の六角形ボタンは「絶対に」押さないでください。

このボタンは「いっさい確認なしでセーブデータを全部消す」ボタンです。

押したら問答無用で取り返しが付かない。まるで本編のような恐ろしいボタンでした。

クリック

主演男優、脚本、心、闇、美術部門、NANTEDOW（ナンテドウ）さんの

「ショートケーキの埋葬（まいそう）」と荒川季節（あらかわ　きせつ）です。

この作品は通信販売、DL販売で入手可能です。

荒川季節（あらかわ　きせつ）は不安定な言動をする母親と二人暮らし。

クリック

勤務先で「不正を強要（きょうよう）」されるも、

母親の干渉（かんしょう）や、高校を中退しているせいで転職もままならなかった。

クリック

ある日、彼はとある事情で死体を埋葬することになる。

向かった山林で地面を掘っていると、誰かが埋めた大量の死体を発見してしまうのだった。

クリック

悲劇の、その先を描く。

クライムサスペンス・ビジュアルノベルとのことで、

死体を埋葬しようとしたことから、ペットの火葬場（かそうじょう）で働く清水莉央（しみず　りお）や、

クリック

そこに、わけありの遺体を持ち込んだ朝日夏鈴（あさひ　かりん）と知り合い、

「政治」と「宗教」が関わる一連の出来事に巻き込まれていきます。

クリック

警察、

クリック

政治家、

クリック

秘書、マスコミなど様々な思惑が絡みあう物語は

クリック

最初は何の関係もなさそうだった出来事や登場人物がどんどん繋がっていくもので、

一つ先にどういう展開が待っているのか全く予想ができませんでした。

クリック

また、登場人物の内面も微（び）に入（い）り細（さい）を穿(うが)つように描かれていて、

特に重要な場面では一枚絵が表示され、より心情が伝わってきます。

私のお気に入りはこの場面と、

あとめちゃくちゃネタバレなので表示しませんが

クリック

向かって右側、小田倉（おだくら）さんの一枚絵です。

実際にプレイしてほしいのですが……魂（たましい）がこもってました。

登場人物の内面を知り、感じたうえで味わう先の読めない物語が、面白くないわけがありません。

クリック

そして主演男優部門、荒川季節（あらかわ　きせつ）は、

一つのことに固執して意地を張り、それ以外の大切なことを見過ごしたり、諦めたりして、

色々と間違えてしまう「生きるのが不器用な子」で、見ていてもどかしかったです。

ですが、不器用さゆえに、母親を見捨てることはなく、

クリック

作中、様々な経験を乗り越えて成長し、莉央（りお）や夏鈴（かりん）にも手を差し伸べます。

クリック

なにより最後、簡単に自分の溜飲を下げる（りゅういんをさげる）ことができる行動を選ばずに、

大切な人のことを考えて決断する場面がとても印象的でした。

クリック

悲劇のその先には、また別の悲劇がありました。それも、たくさんの悲劇が。

けれど、決してそれだけではなく、小さいけれど、光も確かにありました。

クリック

最初の文章が消えてからしゃべりはじめる。ゆっくり。

心、穏やか、ＢＧＭ部門

君の音。（きみのおと。）さんの「赤レンガの駅で会いましょう」です。

この作品はフリーソフトです。

舞台はグッドデザイン大賞も受賞した北海道、岩見沢（いわみざわ）駅をモデルにした安水沢（あみずのさわ）駅。

だんだん、くっきりと

駅舎内にあるおにぎり屋でバイトをしている青年（せいねん）、高谷（たかや）は生きづらさを抱えていた。

おにぎり屋の同僚はとてもいい人で、だからこそ心配されるのが重荷（おもに）になってしまう。

ある日、休憩時間に訪れた駅の二階にあるホールで、黄那（きな）という少女と出会う。

過去のトラウマに苛（さいな）まれながらも黄那（きな）に寄り添われ、少し前を向けるようになった高谷（たかや）。

けれど黄那（きな）もまた、生きづらさを抱えていた。

スタッフ消えたらクリック

全三話の物語で、最初の話では

絵を描くことを辞めてしまった青年（せいねん）、高谷（たかや）、

クリック

二番目の話では彼に寄り添う少女、黄那（きな）

クリック

三番目の話では駅舎内でおにぎり屋「うめこ」を経営する唐橋（からはし）と増野（ますの）が

それぞれ中心となって展開していきます。

クリック

立ち絵や一枚絵はありませんが、

まぶしく、そしてあたたかさを感じ、それゆえに心の影も際立つ背景写真、

クリック

登場人物に寄り添うピアノのBGMによって、

彼らの心の深いところまでを感じることができました。

特に三番目の話が私は大好きです。

クリック

おにぎり屋を開く、という夢を叶えた唐橋（からはし）と増野（ますの）

しかし、「叶えてしまった」からこそ、次の目標へなかなか一歩を踏み出せない。

もはや何も知らない若者ではない、

うめこが無くなったら

けれど諦めるほど枯れてはいない。

そんな大人の葛藤（かっとう）が切実に描かれていましたし、

二人が高谷（たかや）を温かく見守っていたからこそ解決する結末も良かったです。

登場人物四人みんな、お互いへの思いやりにあふれた、優しい話でした。

クリック

短編、ＢＧＭ部門

超水道（ちょうすいどう）さんの

short HOPE long Peace（ショートホープ　ロングピース）です。

この作品はフリーソフトです。

クリック

ヘビースモーカーの大学生、桜田若葉（さくらだ　わかば）は

今まで七人の男と付き合い、全員から振られていた。

そんなある日、サークルの後輩、江向（えこう）が告白してくる。

クリック

彼はタバコが大嫌いだった。

愛煙家（あいえんか）の彼女と、嫌煙家（けんえんか）の彼の恋物語。

ブラウザ上でのみプレイすることができ、

このような縦長の画面が特徴です。

クリック

二人の名前が「わかば」と「エコー」

タイトルもshort HOPE long Peace（ショートホープ　ロングピース）

そして各章にも煙草の名前が入っております。

クリック

序盤、タバコを吸いたい若葉（わかば）と、

吸ってほしくない江向（えこう）君（くん）の掛け合いが軽妙で、

タバコを吸わない私からすると江向（えこう）君（くん）に味方したいところですが、

そんなにしつこく！？　と思うような言動（げんどう）もあり、

げんなりする若葉（わかば）も可哀想でした。

とはいえそんなやり取りを通じて、二人は仲を深めていきます。

この表情とか、仲が良いからこそ、という感じがします。

クリック

急展開を迎える中盤は信じたくない、という思いもありましたが、

落ち着いた江向（えこう）君（くん）の態度もあって、

必要以上に重くなり過ぎずに二人の会話を追っていくことができました。

ラストはちょっと苦いけれども、前向きなもの。

クリック

そして、それぞれの場面で流れるピアノのBGMはどれも登場人物の気持ちに寄り添うもので、

話により入り込むことができます。

私はタバコを吸わないですが、タバコは絵になる、そう思います。

本作でももちろん、そうした格好良さがありますが、

格好だけではない「気持ち」が描かれていました。

クリック（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）

独創部門、ＫＳＢゲームスさんの「ネタバレが激しすぎるＲＰＧ２―親友の　真の姿は　大魔王―」です。

この作品はDL販売で入手可能です。

クリック

前作「ネタバレが激しすぎるＲＰＧ―最後の敵の正体は勇者の父―」は

「おすすめ同人紹介による同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2023」の爆笑部門、受賞作です。

クリック

記憶を失い、目覚めた男は、

魔導士（まどうし）シン、呪術師（じゅじゅつし）ゼータとパーティを組み悪魔を倒すことになる。

しかし、大魔王配下の四天王も活動を始めるのだった。

タイトル出る（キャラクター紹介に合わせてしゃべる）

タイトル通り、ネタバレが激しすぎるＲＰＧで様々なネタバレがされていきます。

例えば記憶を失った男の名前は「ウラギラレルー」

魔導士シンのフルネームは「親友になる」

呪術師（じゅじゅつし）ゼータは「ゼータイ　魔王殺す」など。

本作のサブタイトルは、「親友（しんゆう）の真（しん）の姿（すがた）は大魔王」ですが、

いったい大魔王の正体は誰なのでしょうか……？

他の登場人物も、フルネームはネタバレとなっております。

主題歌「キミの手」

ですが、ネタバレがあるからと言って話の展開がわかるわけではありません。

全てネタバレ通りではあるのですが、そのネタバレがいつ、どのようにして回収されるのかはわかりません。

むしろネタバレを聞いて、「きっとこうなるんだろうな」と想像してしまう分、

思いもよらない場面でネタバレが回収されたときのインパクトに繋がっていました。

また、前作はＲＰＧツクールの公式素材がメインでしたが、

（サークル名出たらクリック）

本作ではメインキャラのグラフィック、ムービー、歌などがオリジナルとなり、

ストーリーやダンジョンも大幅にボリュームアップしております。

前作から引き続きボイスもあります。

ちょっと聞いてみましょう。

ろくでもねぇ宮廷まで聞く。

声優さん、収録してて楽しかったんだろうなあ、と思いました。

明らかなネタバレに笑い、しかし思いもよらぬところでネタバレが回収される。

ネタバレに翻弄される作品でした。

暗転でクリック

主演女優、熱、楽、美術部門、「みむいむ」さんの

「アウラルと光（ひかり）の竜（りゅう）～Gathering Light（ギャザリングライト）～」とアウラルです。

この作品はDL販売で入手可能。体験版もあります。

そして全年齢のとても健全（けんぜん）なゲームです。

なぜかｓｔｅａｍ（スチーム）では「頻出するヌードや性的コンテンツ」扱いになっていますが、

むっちりしたスライム、下を履（は）いてないけど「もふもふ」のワーウルフ、サキュバスおねーさん、

爬虫類（はちゅうるい）っぽい爆乳（ばくにゅう）リザードマン、などが登場するだけなのにそんな扱いおかしいですよねえ。

（ちょっと待ってから）クリック

隻眼（せきがん）・隻腕（せきわん）のアルラウネ、アウラル　48歳（よんじゅうはっさい）は、

人間（にんげん）から迫害（はくがい）されながらも、困っている者を助けて各地を旅していた。

クリック

そうしてやってきたのは、1000年前に「光の竜が魔王を倒した」という伝説がある国。

光に導かれるように、アウラルは竜を復活させるが、

クリック

1000年経って消滅しかけの光の竜は、ちんちくりんな姿になっていた。

クリック

アウラルと、光の竜、セレが様々な人間やモンスターと出会い、協力していく

王道長編ファンタジーモン娘（むす）RPG。

戦闘開始

あらすじや、次の目的地をメニューから確認可能で迷うことがなく、

シンボルエンカウント制で戦闘回避が可能、

バックログやスキップといった便利機能もあり

イベントが始まる前には通知アイコン、ボス戦前には回復ポイントで心の準備ができます。

豊富な装備欄でカスタマイズ

さらにはポイントを割り振って覚えられるスキルツリーをいつでもリセット可能、

再訪問できないダンジョンには貴重な装備なし、と取り返しのつかない要素が排除され

とてもプレイしやすい配慮がされています。

音楽変わる

戦闘はサイドビューで選択した技に応じてアニメーションするのですがそのテンポが良く、

闘っていて爽快感がありました。

グレン

ストーリーは、人間とモンスターの間で軋轢（あつれき）や迫害のある世界で、

アウラルとセレ、お目付け役の人間グレンが困っている者を助けていき、

そうして助けられた者がアウラル達に協力していき、やがて各種族が力を合わせて困難に立ち向かう、

というまさに王道で、熱いものでした。

メルーザ

その合間合間にはモン娘（むす）たちの賑やかで楽しい会話もたくさんあり、

一緒に冒険をする彼女たちのことが大好きになりました。

マリーネ

その中心にいるのが主演女優部門、アルラウネのアウラル。

「本編より前」も困っている者を助ける旅をしていて、作中でも多くの者を助けます。

この世界では特に植物系の魔物は価値観が違いすぎると思われていて、

人間や動物型の魔物からは信用されていませんが、

使用BGM画面でクリック

信用されなくても、迫害（はくがい）されても、「助けるという行動」で示すのが格好良かったです。

クリック

48年生きてきた経験からくる洞察力や機転もあり、バトルでも主力で、本当に頼りになりました。

それだけにアウラルが危機に陥（おちい）ったり、別行動をしたりするときの心細さが半端なかったですし、

そこで表示されるグラフィックも衝撃的で、ハラハラさせられます。

クリック

王道のストーリー、可愛く楽しいキャラクター、親切なシステム、爽快なバトル、全てが素晴らしい作品でした。

ちなみに2017年に本作の二年後が舞台の

クリック

「アウラルと光の竜～魔王病（まおうびょう）と古（いにしえ）の秘宝（ひほう）～」が

フリーソフトとして発表されています。

クリック

そして制作中の次回作は本作の一年後が舞台、

この画像一番右に書かれていますが、なんと健全ではありません。

おそらくですが、モン娘（むす）というジャンルが大好きな方にとっては、のぞむところなのではないでしょうか？

私はのぞむところです。

クリック

主演女優、脚本部門、kotonoha\*（コトノハ）さんの

ルナスティア -忘却（ぼうきゃく）の少女（しょうじょ）と魔法学校（まほうがっこう）-と

クリック

ルナスティア=リリーです。

この作品はフリーソフトです。

魔法学校に入学したルナスティア=リリー

クリック

しかし、入学式で起きたとある出来事により、

同級生から怖がられ、避けられるようになってしまう。

それでもルナスティアは教師たちからの手助けもあり、

自らの行動で味方を増やしていくのだった。

クリック

入学時に、炎、氷、雷のどれに適性があるかを判別してクラス分けされる

……どこかで見たことがあるかもしれませんね！

そんな魔法学校でルナスティアが学校生活を送っていきます。

クリック

RPGパートは難易度やエンカウント率を変更可能で、

クリック

自分のスキルやスタイルに合った歯ごたえで挑むことができます。

クリック

学校生活では学食で何を注文しようか悩んだり、

クラス全員から無視されたり、

中庭に呼び出されて罠にかけられたり、

同級生が燃えて骨だけになってしまったりと、楽しい日々を過ごすことができます。

クリック

そんな魔法学校に入学した主演女優部門、ルナスティア=リリーは、

周囲から避けられても明るく、前向きに授業を受け、人を助け、

みんなからの信頼を得ていきます。

そうした過程に達成感を覚えますが、

クリック

時折（ときおり）、当（とう）のルナスティアに対して違和感を覚える場面があります。

後半では彼女が単に明るく前向きで健気なだけの少女ではなく、

クリック

他にもこうだと思い込んでいたことが違っていたというどんでん返しがあり

一筋縄ではいかない内容で読みごたえがありました。

クリック

二周目ではそうした裏側も読むことができますし、

二周目でしか読めないエンディングの読後感も格別。

魔法学校を「舞台」にしたルナスティアの活躍に、目が離せなくなる作品でした。

クリック

脚本、心、熱、闇、泣き、楽部門、Ｔ・Ｓさんの

久遠（くおん）の彼方（かなた）です。

この作品は12歳以上推奨フリーソフトです。

クリック

強い魔法を使える者が偉い世界。

向かって左側、「トウガ」という国の王子であるクオンは上手く魔法を使えず、

画面中央、強力な空間魔法を使う双子の姉、カナタに複雑な思いを抱（いだ）いていた。

クリック

ある日、ドラゴンの討伐に向かったクオン達は、

「無意識に魔物を呼び寄せるため、生まれてすぐに処分しなければならない」と決められている「眠り子」に遭遇する。

クリック

それが大陸を巻き込む動乱の始まりだった。

クリック

貴族と平民が分断され、魔族の脅威もある魔法世界を舞台にした長編シミュレーションＲＰＧ。

シミュレーションＲＰＧパートではこのように技アニメーションを交えながら、

どうやって倒されないようにしつつ相手に攻撃するかを考える楽しみがあります。

本作品は群像劇（ぐんぞうげき）で、

クリック

ストーリー中でもそれまで味方だった登場人物が敵になったり、その逆だったり入り乱れますし、

視点も頻繁に切り替わります。

シミュレーションＲＰＧパートでも特定の陣営だけ操作するというわけではなく、

さっきまで防衛側を操作していたかと思えば、次のステージでは攻撃側を操作することになったりします。

クリック

そのため、各陣営の内情や人間関係を知ることができ、多くの登場人物のことが好きになり、

彼らの境遇、行動に一喜一憂することができました。

序盤は魔法が使えないクオンの悩みはあれど賑やかで楽しい日常ですが、

クリック

争いにより様々な禍根（かこん）が発生し、どんどん事態が悪化していきます。

絶望的な状況が続きます。

しかし、そこからの反転攻勢も熱かったです。

クリック

魅力的な登場人物たちと変化する時代を駆け抜け、

読み終えた後、もう彼らと一緒に歩むことはできないのか、と喪失感を覚えてしまう、そんな素晴らしい作品でした。

クリック

素晴らしいと言えば登場人物の衣装。おおむねえっちです。

見てくださいこの模範的（もはんてき）なビキニアーマー。とてもえっちです。

クリック

さらに戦闘中、ピンチになると

クリック

服が破れます。

この服は魔法で維持しているため、回復すると服も治ります。

そのため、こんな頻繁に服が破れるなんて、

どれだけ着替えが必要なんだろうという余計なことを考えることがなく、

服が破れて「悲壮感」のある姿を堪能することができます。

クリック

ちなみに男性キャラも

クリック

しっかり服が破れます（ちょっと待つ）。

クリック

助演女優部門、トゥルン・デ・コクト。

辺境伯（へんきょうはく）の娘です。

飄々（ひょうひょう）としつつも頼れるお姉さんといった感じで、

後継者争いから一歩引いて立ち回るのですが、

時代の流れは彼女さえも争いに巻き込むのでした。

物語中盤の出来事は必見です。

クリック

それはそれとしてみんなの恋路（こいじ）を生暖かい目で見たり、からかう場面の数々はもっとやれ！　となりました。

さらにトゥルンを語る上ではずせないのが戦闘での強さ。

他の登場人物とは一線（いっせん）を画（かく）す防御力を誇る上、

隣接ユニットを「かばう」ことができるのが頼もしすぎました。

クリック

雑魚敵でも集中攻撃されると危ういゲームバランスの中、

この「ノーダメージ」がどれだけ有難かったことか。

途中から強力なデバフ攻撃も使えるようになりますし、

ストーリーでも戦闘でも、本当に頼りになりました。

クリック

助演男優部門、パーキン・デ・ソルティ

クオン達の隣の国、「ソルティ」の王子です。

クリック

最初彼は、クオンの姉、カナタとの「縁談の相手」として登場します。

そしてこの歯の浮くようなセリフ。

さらに髪型がキノコ。

絶対にコイツはいけ好かない奴だ！　と思いました。

けれど知識も実力もあり、現実を見据（みす）えつつも友情に厚（あつ）く、とっても格好良かったです。

クリック

そう思ったのは私だけでなく、主人公クオンもで、

クオンは多くの女性キャラにモテるのですが、それをのらりくらり交わしつつ、

パーキンに対してめんどくさい彼女ムーブを繰り返します。

嬉しい時も真っ先にパーキンに抱きつきにいきます。

そんな愛され王子さまでした。

クリック

熱、闇、特殊効果、美術部門、蟹（カニ）ヘッドクラブさんの桜御前（さくらごぜん）です。

この作品は18禁でDL販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

桜 謳歌(さくら　おうか)は武士の家に生まれながら、没落し貧乏暮らし。

武力に定評はあれど、粗暴で性欲も強く、周囲から鼻（はな）つまみ者（もの）扱いされていた。

クリック

ある日彼女は、鈴音(すずね)という少女を拾い弟子にする。

弟子がいるからには立派な師匠の姿を見せなければならない。

クリック

城で御前試合（ごぜんじあい）があることを知った謳歌(おうか)は、

参加には町民の支持が必要とそそのかされ、目安箱に届いた依頼をこなしていくのだった。

クリック

サイドビュー視点で繰り広げられる和風冒険活劇RPGで、

このように町を歩いて人や妖（あやかし）の依頼を解決したり、その過程でうっかりエッチな目に遭ってしまったりします。

クリック

バトル画面は最後にご覧いただくとして、特定アイテムを手に入れれば触れるだけで敵を倒せるようになりますし、

ファストトラベル機能もあってテンポの良い探索が可能になっております。

クリック

Ｈシーンは謳歌(おうか)だけでなくサブキャラクターのものもあり「巨乳」「貧乳」取り揃えられ、

クリック

コスプレや遊郭、受けに攻め、そして百合など様々なシチュエーションがそろっております。

クリック

ストーリーもまた緩急が激しく、開幕早々、謳歌(おうか)の脳筋（のうきん）っぷりや町の変態どもを見せつけられ、

時には友情や、「師匠と弟子」の絆もあって、痛快活劇エロコメディのまま突き進むのかなぁ……と思っていたら一転、

クリック

血生臭い展開がやってきます。

御前試合が行われる理由、「武士」という存在の異常なまでの武への執着、鈴音(すずね)の正体など。

始め

表示されるグラフィックや演出も迫真のもので、相手の息遣いは闘志（とうし）に満ちていましたし、

強力な攻撃を受けてしまえば苦悶の表情を浮かべ、しかし相手を倒すまでは一歩も引かない。

その壮絶さに一気に身が引き締まりました。

カットイン

とはいえその後もエロコメディはたっぷりあるのでご安心ください。

ちなみに戦闘シーンではタイミングを合わせてボタンを押すことで威力がアップしますが、

全部失敗しても何とかなるのでリズムゲーが苦手な方でも大丈夫です。

実際にここで二回失敗してます。

二回くらい失敗

事前に強化ポイントを使って謳歌(おうか)の能力を上げて

相手の大技が来る前には「左上にアイコンが表示」されるのでそのタイミングで防御、

カットイン

体力が減ったらもったいないと思わずにアイテムで回復、

といった反射神経が必要ない基本を積み重ねればきっとクリアできます。

前作「The Monstrous Horror Show（ザ　モンストラス　ホラー　ショー）」との関わりもあり、

カットイン

前作プレイ済みであればより楽しめますが、

メインストーリーは本作だけで完結しているので前作未プレイでも全く問題はありません。

また、「謳歌(おうか)達の親世代」の出来事も、メインストーリーでは、はっきりとは語られませんが、

武器などのフレーバーテキストに仕込まれていて、読み込もうと思えばどんどん深く読み込むことができる世界観でした。

凄惨な状況を味わいながらも、みんなで協力して解決を目指す、エロくて、格好良くて、熱い物語でした。

クリック

脚本、熱、楽部門、とろとろレジスタンスさんの「もんむす・くえすと！ ぱらどっくすRPG」です。

この作品は18禁でDL販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

勇者ルカは、夢の中で創世（そうせい）の女神（めがみ）イリアスから世界の危機を告げられる。

クリック

朝起きて裏山に行くと、そのイリアスがロリ化して倒れていた。

クリック

同じくロリ化した魔王アリスフィーズも家に押しかけ、ルカは二人のうちどちらかと冒険の旅に出るのだった。

クリック

過去作「もんむす・くえすと！～負ければ妖女（ようじょ）に犯される～」では

魔王アリスフィーズと出会い、共に世界を旅し、世界を救った勇者ルカ。

「もんむす・くえすと！ ぱらどっくすRPG」では

魔王アリスフィーズと出会い、冒険の旅に出ることや、多くの登場人物は同じですが、

過去作とはある時点以降、随所に異なる出来事が起こり、だんだんとその原因が明らかになっていきます。

クリック

本作の特徴はファンタジー世界でモンスター娘と戦って、負けたら犯（おか）される、というもの。

画面では主人公ルカの格好いいカットインが入っていますが、

負けるとモンスター娘の思うがまま、情（なさ）けない姿をさらして無様（ぶざま）にあえぐことになります。

クリック

モンスター娘はなんと900以上もいて、すべて別々のHシーンがあります。

また、仲間にして一緒に戦うこともでき、仲良くなるとおねだりして犯してもらうこともできます。

そしてここが重要なのですが、「男性側が女性側を性的に責めるシーンは一切ありません」

クリック

モンスター娘以外のボリュームもものすごく、私はエンディングまで二百二十時間ほどかかりました。

ストーリーもそのボリュームにふさわしい壮大なもので、

なぜ過去作と「異なる世界」になっているのかを求め、世界の危機を救う方法を探し、

何度も失敗し、けれど立ち上がり。そうした末のラストバトルは盛り上がりました。

クリック

ちなみに強さのインフレもすさまじく、こちらはゲーム開始直後。一桁か二桁のステータスです。

クリック

こちらは今現在の私のデータ。

攻撃力が127億です。これに様々なアビリティを組み合わせてやれば、

クリック

兆（ちょう）どころか京（けい）単位のダメージを出すことも簡単にできます。

とはいえ敵の攻撃も苛烈で、全く油断できませんでした。

クリック

登場人物も魅力的で、可笑しな掛け合いもあれば、格好いい場面もたくさんあり、

最終的にパーティメンバーは十六人になるのですが、それでも誰と一緒に冒険をしようか悩むことになりました。

特にこのアルマエルマをはじめ、明らかに格上である相手に単身挑み、打ち勝つ場面が熱かったです。

クリック

ほぼ全てのモンスター娘に犯されることができるという性癖へのこだわりと、

ほぼ全てのモンスター娘を仲間にでき、数多くのアイテム、街、ダンジョンが待ち受けるRPGへのこだわりの中で、

生き生きとした登場人物たちと一緒にかけがえのない冒険をすることができました。

クリック

熱、楽、爆笑、独創、歌曲、特殊効果部門、X-ROOM（えっくするーむ）さんの

魔造少女（まぞうしょうじょ）オトメーティア ～生配信中！（なまはいしんちゅう）～です。

この作品は18禁で通信販売、DL販売で入手可能、体験版もあります。

ちなみに向かって右側二つの「生配信中」のフキダシは私が配信するときの配慮なので、実際のゲームには存在しません。

悪の組織を倒した代償として、魔力の大部分を失った、向かって左側、魔法少女アルカナメイデンは、

クリック

次の侵略に備え、後継者「オトメーティア」を見出（みいだ）す。

科学と魔法を融合させた魔造少女（まぞうしょうじょ）を強化するためには資金が必要。

クリック

稼ぐならエロ配信。　そして、「自分も変身ヒロインのエロ見たいし」と、

アルカナメイデンは、オトメーティアと悪の組織の闘いを「内緒（ナイショ）で」生配信して、

クリック

スパチャやメンバーシップで資金集めをするのだった。

でも、ただ配信するだけじゃ都合よくエロい展開になるかどうかわかりません。

実は、アルカナメイデンと、いまオトメーティアが闘っている悪の組織はグル……というより、

オトメーティアを鍛えるため、アルカナメイデンの命令で「悪の組織を演じているだけ」なのです。

視聴者もそれを承知で、知らぬはオトメーティアただ一人。

そのため、安全にエロハプニングを発生させることができるのです。

各ステージにはボスがいて、負けてしまうとオトメーティアが凌辱されます。

クリック

では、勝ったら何も起こらないか？　いえ、そんなことはありません。

アルカナメイデンが「オトメーティアのスーツが破れるボタン」を押すなどして、

「露出羞恥（ろしゅつしゅうち）」にいざないます。

どんなときでも、視聴者の「エロへの期待」に応える。配信者の鏡（かがみ）です。

クリック

各ステージのボスはご覧の面々となります。ちょっと名前が読みにくいかもしれませんので拡大します。

クリック

いったいどうやってオトメーティアを凌辱するのか気になりますね。（待つ）

クリック

そして中央上部に佇（たたず）むは悪の組織の大首領（だいしゅりょう）、ラスボスです。

クリック

いったい誰（ダレ）カナメイデンなんでしょうか……？

資金集めのため視聴者を増やす、という目的があるため、とにかくサービス精神が旺盛でして、

クリック

もう名乗るだけで面白いんですが、

このあと、しっかり「俺の名を言ってみろ」をしてオトメーティアを辱（はずかし）めることに余念（よねん）がありません。

クリック

生配信なので様々なアドリブもあり、笑いっぱなしでした。

クリック

助演男優部門、視聴者。

便宜上こちらでノミネートしておりますが、女性リスナーも少なからず存在します。

こうして右上にどんどんコメントが表示され、

オトメーティアのエロに歓喜し、それを配信するアルカナメイデンをいじり、ボスのネーミングに爆笑する。

スパチャにも常連が多数いて、百合展開で必ずスパチャを投げる人などそれぞれの個性が見えます。

アルカナメイデンが過去に世界を救ったときのことを楽しそうに話していて話題についていけない時もありましたが、

それも含め、私も「新参リスナー」として、彼らと一緒に配信を楽しめました。

クリック

主演女優部門、オトメーティア、……「かわいそうはかわいい」です。

クリック

変身前の名前は朝宮 京華(あさみや きょうか)。

アルカナメイデンに助けられた過去を持ち、アルカナメイデンの熱狂的ファンです。

その上、素直で真っ直ぐすぎる性格で

クリック

「不自然すぎる展開」でエロい目に遭（あ）っているにも関わらず、

クリック

「一切（いっさい）」アルカナメイデンのことを疑わず、こんなことを言ってくれます。

……アルカナメイデンは良心（りょうしん）の呵責（かしゃく）に苛（さいな）まれます。

しかし先ほども触れましたが、ラスボスはあのお方です。

真っ直ぐなオトメーティアが、先輩の悪行（あくぎょう）に気付いたときどうするのか。

ラストバトルは演出や、そこで流れる魔王魂（マオウダマシイ）さんの歌もあいまって、とても盛り上がる熱い展開でした。

私はお気に入り過ぎてラストバトルを「何度も」「何度も」見返（みかえ）しています。

クリック

助演女優部門、アルカナメイデン。こんな名前ですが経験豊富な淫乱（いんらん）です。

クリック

変身前の名前は春原 兎爾耶(すのはら うにや)。

クリック

資金集めのため……だけでなく、自分も「エロが見たい」という理由で、

無許可でオトメーティアを全世界に配信するという、控えめに言って邪悪。……本作すべての元凶です。

クリック

ただ、とても嬉しいことに自分でもエロ配信をしてくれます。……それも、ハードなプレイ多めです。

ちなみにこのシーンではマスクしてますが、他の場面では普通に顔出しします。

後輩だけをエロい目に遭わせないという心意気……ではまだ擁護できないですよね。

そもそも「後輩を酷い目に遭わすな」としか言えません。

こんなひどいアルカナメイデンをリスナーが、そして私が大好きなのは、

クリック

彼女がどこまでも「正義の味方」で、「力を持たない人を助ける」ことを貫いているからです。

自分は拷問されても凌辱されても、「人を助（たす）けられる」ならそれでいい。

人々を守るために、負けられない闘いには「何をしてでも」勝つ。

いま、幸せでない人を元気づけるために、手と、手だけでなくいろんな部位を使った握手会を開く。

心も体も性欲も守る、才色兼備（さいしょくけんび）、永久不滅（えいきゅうふめつ）、

究極無双（きゅうきょくむそう）、アルカナメイデン！　……「おかおかわいい」最高のヒーローでした。

クリック

楽部門、3 on 10 -サンオントウ-さんの「サクヤはパスタが食べたかったのに」です。

この作品は18禁で同人ショップ、ダウンロード販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

農業が盛んな国（くに）から、交易が盛んな国へ　クリック　農作物を売りに来ているサクヤは、

クリック

酪農が盛んな国（くに））から、交易が盛んな国へ　クリック　乳製品を売りに来ているクララ、クーちゃんに一目ぼれ。

サクヤは半ば強引に、クーちゃんとカフェでランチを共にしていた。

しかしいつまでたっても、「サクヤはパスタを食べられなかった。」

クリック

なぜなら、とある理由でクーちゃんはパスタを「スパゲッティ」と呼ぶことにこだわっていたからだった。

この作品を一言でいうと……

クリック

「サクヤはパスタが食べたかったのに」という話です！

でも、作中の「パスタ」と「スパゲッティ」は国によって言い方が違うだけで同じ食べ物を指します。

クリック

クーちゃんが「スパゲッティ」と呼べ！　と言っているだけです。

好きな女の子がいう事なんだから、そのくらい合わせてもいいじゃないか、と思うかもしれません。

クリック

けれどサクヤは「スパゲッティ」と言おうとすると、どうしても吹き出してしまうという癖があるのでした。

なんて癖なんでしょう。サクヤが言うには、「スパ」はいいけど「ゲッティ」ってなんだよ、らしいです。

クリック

そう言われると私も「ゲッティ」でちょっと笑うようになってしまいました。「ゲッティ」。

クリック

ともかく、「クーちゃん大好き」を隠そうともしないサクヤと、それをあしらうクーちゃん

妙なこだわりを持った二人の会話が小気味よくて、ずっと読んでいたくなるくらい楽しめました。

クリック

今話題の関税の話なども交えつつ、

クリック

クーちゃんとパスタを想（おも）うがあまり幻覚を見たりしつつ

クリック

同じものであっても言葉次第（しだい）、見た目次第、自分の感情次第で、受け取り方が変わる、そんな話を読み終え、

クリック

CGモードを見ると、達成率１００％。コンプリートです。

……最初に言いましたが、本作は18禁です。ですが、左下のお口のシーンしかありません。

「お口に特化（とっか）した作品」だと「大々的（だいだいてき）に言っている」ならいいですが、

そうでないのにHシーンがお口の一つだけ。そんなの許せるでしょうか？

……私はギルティだと思いながら、三日ほど過ごしました。

そしてどうしても納得いかず最初から読み直してみると……

クリック

ここから先は、プレイヤーの責任でご判断ください。

クリック

主演男優、助演女優、心、闇部門、Echo/Juliett（エコージュリエット）さんの「歪（ゆが）んだ鏡像（きょうぞう）」と、

主人公、そして多倉沙希（たくら　さき）です。この作品は18禁でダウンロード販売で入手可能、体験版もあります。

18禁ですが、本作には直接的なシーンはありません。

クリック

あるのは過去作「欠損（けっそん）の杯（さかずき）」の方です。……「Pieace（ピース）」シリーズ、という連作で、

クリック

主人公と、事故で手足と家族を喪（うしな）った幼馴染、雛南姫子（ひなみ　ひめこ）の同棲生活が描かれています。

クリック

「欠損（けっそん）の杯（さかずき）」では、事故前のエピソードや、

同棲しているものの「姫子（ひめこ）のことがわからない」と主人公が周囲に泣きつく話などを読むことができます。

その続きである、「歪（ゆが）んだ鏡像（きょうぞう）」では、

クリック

隣の部屋に引っ越してきた大学生、多倉沙希（たくら　さき）が挨拶にくる、というところから始まります。

だいぶ無防備で、友達になろうとベタベタしてくる沙希（さき）に、

主人公と姫子（ひめこ）の仲はいかに？　と普通ならなるところですが、

クリック

主演男優部門、前作で吹っ切れた主人公は無敵です。

ちなみにこちらは主人公と姫子（ひめこ）の主治医（しゅじい）兼カウンセラー。

主人公のことを蛇蝎（だかつ）のごとく嫌っています。

クリック

主人公はどんなに沙希（さき）がベタベタしてこようとも、一切の興味を持ちません。

沙希（さき）と二人きりで出かける場面もあるのですが、その理由も、「姫子（ひめこ）がそうしろ」と言ったから。

クリック

「姫子（ひめこ）と一緒に暮らし、世話をする今」しか眼中（がんちゅう）にありません。

それを壊そうとするものは淡々と排除します。怒りや憎しみすら抱かず、ただ事務的に。

本作は心部門にノミネートしておりますが、正確には「主人公は人（ひと）の心（こころ）が無（な）いのか部門」

もしくは「こいつ人（ひと）の心（こころ）に興味なさすぎ部門」でした。

クリック

ただ、助演女優部門、多倉沙希（たくら　さき）もなかなかに強烈です。

こんなニコニコして、ほぼ初対面（しょたいめん）の主人公にベタベタして、あざといです。

しかし主人公と会話していくなかで、ちょっとずつ異常さがあらわになっていきます。

クリック

そしてそれは、主人公の「歪（ゆが）んだ鏡像（きょうぞう）」でした。

終盤のシーンは必見で、姫子（ひめこ）がこんなにおびえるだけある言動をしてくれました。

クリック

ヒロインの姫子（ひめこ）も可愛くて、もともと面倒くさくて可愛い性格なうえに

四肢欠損しているがゆえの難しいところもあってとっても可愛いのですが、主人公と沙希（さき）が強すぎました。

クリック

本作のタイトル画面はとても穏やかそうですが……作中に二人が仲良くするシーンは「一つも」ありません。

歪みにあふれています。……ただ、主人公の心だけは、とても平穏でした。

クリック

闇、独創部門

羊（ひつじ）おじさん倶楽部（くらぶ）さんの鉛（なまり）の棍棒（こんぼう）です。

この作品は18禁で通信販売、DL販売で入手可能です。

子供の頃、幼馴染のユカリは、誘拐され、凌辱され、拷問され、殺された。

ヒジリは犯人かもしれない男と誘拐直前に会っていたが、そのことを警察に告げなかった。

クリック

大人になり、薬（クスリ）の売人（ばいにん）として死んだように生きていたヒジリの前に、サワガミという名の刑事が現れる。

サワガミはヒジリに「復讐」を持ちかけるのだった。

クリック

「死んだ少女のための無意味な殺戮（さつりく）ADV（アトベンチャー）」

主人公が、幼馴染を殺した犯人に復讐するため、

クリック

刑事のサワガミや、彼が連れてくる者から殺人の技術を学び、

クリック

実践するためにヤクザからの依頼で人を殺したり、

クリック

情報屋と取引して犯人を探（さが）したりします。

クリック

本作には主人公が安らげる場面は一切ありません。

物語開始までは下っ端（したっぱ）の売人（ばいにん）

そこからサワガミに軟禁（なんきん）されて人の殺し方をスパルタで教え込まれ、時折実際に人を殺す。

殺せば恨みを買いますし、犯人は強く狡猾で、正体に迫れば迫るほど危険は増します。

クリック

また、人が殺される場面の痛々しさとは裏腹に殺す方はどこか軽薄（けいはく）なことが多くて、

最初は抵抗を感じていた主人公もだんだんとその異常さに慣れていきます。

主人公が身を置く場所の陰鬱（いんうつ）さに息が詰まりました。

クリック

しかし、そこまで主人公がもがいても、犯人の方が何もかも上です。

犯人と何度か接触し、「万に一つも勝ち目はない」と痛いほど思い知らされます。

けれど、主人公は殺されません。何故なのか、と疑問を抱きました。

その理由はラストシーンで一気に、そして強制的に納得させられます

本作品のジャンル「死んだ少女のための無意味な殺戮（さつりく）ADV（アトベンチャー）」が

その通りにもほどがあるラストでした。

復讐は何も生まない。……そんな使い古された表現「以前（いぜん）」の、とても印象的な結末でした。

クリック

主演女優、穏やか、楽、歌曲、美術部門、NANACAN（ななかん）さんの

流る星 -a wish star-（ながるほし　あ　ういっしゅ　すたー）とミコトです。

この作品は18禁で通信販売、DL販売で入手可能、体験版もあります。

クリック

見星彼方（みほしかなた）は姉のあかりと二人暮らし。

姉から理不尽な要求をされた彼方（かなた）は日課となっている神社参りで、

姉と違って、「小さくて可愛げのある超絶美少女の彼女」が欲しいと願う。

クリック

その帰り道。

自称「小さくて可愛げのある超絶美少女」で「カミサマ」を名乗る少女に、

彼女になりにきた。と言われるのだった。

「カミサマ」を名乗る少女に「ミコト」と名付け、一緒に暮らしていくラブコメディ。

本編は全年齢で、Hシーンは同じくらいのボリュームで後日談にたっぷり入っています。

クリック

身元の分からない少女を警察にも言わず保護する、という事案な行動など、

こまかく描（えが）いていくと複雑になってしまう所はさくっと解決させて

その分「ミコトの可愛さ」をたっぷり見せようという割り切りのおかげで

終始（しゅうし）「ミコトと過ごす日々の楽しさ」を感じられました。

クリック

主人公の善良さや、姉のノリの良さにも好感が持てます。

綺麗でしっとりとしたOPの歌も、それとは正反対にイチャラブ過ぎるＥＤの歌も印象的でしたし、

超絶美少女にふさわしいミコト、

Ｈシーンがないのが本当に残念な姉のあかり、

それぞれのビジュアルも美しくて、

クリック

時折表示されるこんなデフォルメの絵も、楽しさに一役（ひとやく）買（か）っていました

クリック

主演女優部門、ミコト。

可愛いは正義です。

クリック

主人公とあかりのことが大好きで、

食べ物をおいしそうにたくさん食べて、

ちょっと抜けたところがあって

健気で、一生懸命で、

綺麗で可愛くて、

彼女と過ごす時間が、本当に幸せでした。

クリック

「小さくて可愛げのある超絶美少女」と過ごす忘れられない夏の物語。

シンプルに「可愛いは強い」

そう、思い知らされる作品でした。

クリック

脚本、泣き、歌曲、美術部門

GALEX SOFT（ギャレックスソフト）さんの「アキゾラのメモリーズ」です。

クリック

本作は「ハルイロのセツナ」

クリック

「ハルイロのセツナ2」の続編で、

クリック

前編の「アキゾラのメモリーズ　運命の地平線」と、

クリック

完結編の「特異点の奇跡」があり、

どちらも18禁で同人ショップ、DL販売で入手可能です。

クリック

舞台はある病気に罹（かか）った者たちが通う全寮制の高校。

主人公、新太(あらた)のクラスに、津奈木羽椛 (つなぎ わかば)という少女が転入してくる。

歌始まる

文化祭を間近に控える中、友人たちも交え、日常を送っていくが、

病状（びょうじょう）が悪化（あっか）する生徒が増えていくのだった。

という青春SFビジュアルノベル。

OPの歌が二曲、ＥＤにも歌が二曲あり、

OPは疾走感たっぷりで格好良かったですし、

窓の外羽ばたけず

ＥＤはヒロインの心情が感じられました。

前編の「アキゾラのメモリーズ　運命の地平線」は「ハルイロのセツナ」とは全く別の舞台で、

登場人物も羽椛 (わかば)以外、主人公も含め初登場。

地平の境界線で

そして「ハルイロのセツナ2」でヒロインの一人だった羽椛 (わかば)は何故か、容姿も性格も全く違っていて、

どう関係しているのだろうと気になるつくりになっていました。

完結編では「ハルイロのセツナ」から続いた、ままならない因果を解決する展開で、

目的を達成するため、様々な人、

歌終わる

そしてなにより、「主人公」、「新太(あらた)」が行動していて、

途中で絶望することがありながらも、最後には想い、願いが、「繋がった」と嬉しくなりました。

クリック

助演女優部門、西戸崎千早(さいとざき ちはや)

朝、主人公の部屋に起こしにくるくらい仲が良いです。

そして博多弁（はかたべん）です。博多弁の女の子って可愛いですね。

クリック

でも、助演でノミネート。つまり残念ながらメインヒロインではありません。

メインヒロイン、羽椛 (わかば)に対抗して修羅場になる場面や、

主人公に執着（しゅうちゃく）してちょーっと精神的に不安定になる場面もありますが、

クリック

それも全て主人公のことが大切で大好きだから。

クリック

最後には笑顔を見せてくれます。

クリック

でも、内心はすごく悲しくて。

クリック

そして、主人公が見ていない所で……。

彼女の精一杯の意地が、グラフィックも相まって美しくて、切なくて胸を打ちました。

クリック

なお、完結編では「ハルイロのセツナ」の主人公やヒロインも登場して、それもまた感慨深いです。

ちなみに「ハルイロのセツナ」と

クリック

「ハルイロのセツナ2」にはそれぞれ二人、合計「四人」のヒロインがいます。

「四人」です。

クリック

まず、「アキゾラのメモリーズ」メインヒロインにして「ハルイロのセツナ2」ヒロインの羽椛 (わかば)

クリック

向かって左、「ハルイロのセツナ2」ヒロインの白咲来未（しろさきくるみ）

向かって右、「ハルイロのセツナ」ヒロインの春奈美紅（はるなみく）

以上、完結編に登場する「三人」です。

……「三人」なんです。

クリック

私の推しの沢井藍美（さわいあいみ）ちゃんは、ちょこっっっと話題が出るだけで登場しません。

「ハルイロのセツナ2」でも登場せず、「ハルイロのセツナ」だけで会える絶滅危惧種です。

2022年の同人ゲーム・オブ・ザ・イヤーで、

「アキゾラのメモリーズ」で出番があるといいなあ、と言ったのですが……願いは、叶いませんでした。

クリック

（そのあと、ノイズがないか確認）

（マイク・音量にノイズがないか確認）

以上でノミネートされた作品の紹介を終了いたします。

10分間の休憩をはさみまして、授賞作発表へ移りたいと思います。

また、この休憩時間にはムービー動画部門ノミネートのムービーをもう一度流します。

それでは10分間の休憩です。

クリック

**授賞作発表**

お待たせいたしました。いよいよ授賞作の発表です。

クリック

主演男優部門候補はこの4人です

クリック

物置（ものおき）の中（なか）の骸骨（がいこつ）さんの

「トランス→トラベル」積口数彦（せきぐち かずひこ）です。

クリック

　「トランス」という信じられないような現象に見舞われる主人公、

西音寺光（さいおんじ　ひかる）を全力で救おうとしてくれます。

クリック

それもただがむしゃらなだけでなく、論理的に考える頭の良さもありました。

クリック

こんな姿になる末路もあり得（え）ましたが、それも本気だったから。

クリック

様々なことが起こりながらも二人で乗り越えていくという関係性が尊（とうと）かったです。

クリック

助演男優部門候補はこの6人です

クリック

Ｔ・Ｓさんの

久遠（くおん）の彼方（かなた）

クリック

パーキン・デ・ソルティです。

　見るからに小物貴族（こものきぞく）っぽいビジュアル。

クリック

しかし、文武両道で、人の上に立つ者として現実的に考えつつ、

そのうえでクオンたちに協力してくれるのが格好良かったです。

クリック

女性キャラの多くは主人公クオンのことが好きですが、

クオンが一番好きなのは間違いなくパーキン。

　　私も彼のことが大好きです。

クリック

主演女優部門候補はこの6人です

クリック

「みむいむ」さんの

「アウラルと光（ひかり）の竜（りゅう）～Gathering Light（ギャザリングライト）～」

クリック

アウラルです。

機転（きてん）を利（き）かせて問題を解決してくれ、闘（たたか）いも強く、本当に頼りになるのですが、

だからこそ不在時（ふざいじ）は不安（ふあん）で、怖（こわ）くて仕方（しかた）がありませんでした。

クリック

アウラルは本編より前から、何度もひどい目に遭いながらも、困っている者を助け続けてきました。

それは本編でも変わらずで。

クリック

けれど光（ひかり）の竜（りゅう）セレとの出会いから信頼できる仲間が増えていきます。

終盤は、助け続けてきたアウラルだからこその展開で胸が熱くなりました。

クリック

助演女優部門候補はこの6人です

クリック

X-ROOM（えっくするーむ）さんの

魔造少女（まぞうしょうじょ）オトメーティア ～生配信中！（なまはいしんちゅう）～

クリック

アルカナメイデンです。

クリック

可愛い見た目に反して「金が欲しい」そして「デカパイ変身ヒロインの恥辱（ちじょく）が見たい」と言い、

クリック

後輩のオトメーティアをだましてエロい目に遭（あ）わせ、全世界に配信します。

そこだけを見ると「ひどすぎる」「オトメーティアかわいそう」で、実際その通りすぎるのですが、

クリック

ふとした言葉や、行動の端々（はしばし）に、

困っている人や不幸な人を助（たす）ける「ヒーロー」としての信念が感じられます。

「人を助（たす）けられないヒーローなんて意味がない」

負けられない闘いには「何をしてでも」勝つ。その信念が、ひたすら格好良かったです。

本作のラスボス戦（せん）では、そんな彼女の魅力をとことん味わえました。

……なお、ラスボスが、アルカナメイデンです。

クリック

クリック

脚本部門候補はこの10作品です

クリック

Ｔ・Ｓさんの久遠（くおん）の彼方（かなた）です。

クリック

上手く魔法を使えない王子「クオン」が、忌（い）み嫌（きら）われている「眠り子」に遭遇することから始まる、

クリック

大陸を、そして歴史を巻き込む群像劇（ぐんぞうげき）。

クリック

時には敵対し、時には手を組む各陣営の視点があることで、

クリック

登場人物それぞれの心情や思惑を知り、愛着を抱（いだ）き、

クリック

そのうえで待ち受ける衝撃的な展開や、盛り上がる展開の数々（かずかず）に惹（ひ）き込まれました。

クリック

魅力的な登場人物たちと変化する時代を駆け抜ける、壮大な物語です。

クリック

クリック

心部門候補はこの11作品です

クリック

solophilia（ソロフィリア）さんの「PaintPain（ペイントペイン） ～少女はメイドの手をとって～」です

クリック

登場人物全員の、芸術に対する抑えきれないほどの気持ちが描（えが）かれていました。

素晴らしい絵を見たときの感動、

理想に出会い、理想の絵を、自分の心のままに、周囲を顧みず描（か）く「衝動（しょうどう）」

クリック

それは端（はた）から見ると「奇行（きこう）」でもあり、

クリック

そうしたところをコミカルに描きつつも、

クリック

「本気」になれる彼女たちが格好良かったです。

運命を変え、世界を塗り替えるほどの「衝動」が込められた、心震える物語でした。

クリック

熱部門候補はこの8作品です

クリック

とろとろレジスタンスさんの「もんむす・くえすと！ ぱらどっくすRPG」です。

クリック

過去作「もんむす・くえすと！」との矛盾。

クリック

それは世界が危機（きき）に瀕（ひん）している予兆でした。

クリック

主人公ルカは仲間のもんむす達と世界をめぐり、事態を解決しようとする中で、

クリック

何度も失敗し、けれど立ち上がります。そして強大な敵に挑みます。

その意地と、どんどん壮大（そうだい）になっていく物語がとても熱かったです。

クリック

穏やか部門候補はこの5作品です

クリック

くまのこ道（どう）さんの「建設的な恋なんて！」です。

クリック

「建築」と「労働環境」という現実的な要素たっぷりの恋愛ファンタジー。

クリック

作中でたびたび感じるのが、大人だ、ということ。

自分に何ができるかを把握して提案したり、

クリック

会話の中に気遣（きづか）いやユーモアを忘れなかったり。

時には「しがらみ」があって思うがままに行動できないこともありますが、

クリック

それも含めて仕事ができる社会人の穏やかな日々と、ちょっぴり刺激的な恋を味わえました。

クリック

闇部門候補はこの7作品です

クリック

パラドラストさんの「眠（ねむ）れヘリオトロープ」です。

クリック

問題児だった過去を振り切る、小さな、けれど大事な成功体験。

クリック

しかし、後半に待ち受けるどうしようもない現実は容赦がありません。

クリック

グラフィック、BGM、歌も相まって、

クリック

「中学生」という未熟で、無力で、全力な危うい時間を、より重く、苦しく感じられました。

クリック

あとこの右下六角形の、「いっさい確認なしでセーブデータを全部消す」ボタンも容赦がありませんでした。

クリック

泣き部門候補はこの4作品です

クリック

GALEX SOFT（ギャレックスソフト）さんの「アキゾラのメモリーズ」です

クリック

閉塞した事態を、様々な人の思い、願いを繋げて変えていこうとする物語。

クリック

特に助演女優部門にもノミネートした博多弁（はかたべん）の女の子、

クリック

西戸崎千早(さいとざき ちはや)の

クリック

主人公への想いや、

クリック

精一杯の意地が切なくて胸を打ちました。

クリック

あと私の推し、過去作「ハルイロのセツナ」ヒロインの一人、沢井藍美（さわいあいみ）ちゃんが、

ヒロインの中（なか）で一人（ひとり）だけ出番なくて、「泣きたいのは私だ部門」も授賞です。

クリック

楽部門候補はこの9作品です

クリック

「みむいむ」さんの

「アウラルと光（ひかり）の竜（りゅう）～Gathering Light（ギャザリングライト）～」です。

プレイしやすい配慮が満載で、戦闘アニメーションも爽快なRPGパート、

可愛いモン娘（むす）たちが賑（にぎ）やかに「しゃべりまくる」会話パート。

各種族が力を合わせて困難に立ち向かう熱いストーリー。

その全てに「楽しい！」が詰まっていました。

クリック

ロジック部門候補はこの4作品です

クリック

パルソニックさんの「鏡（かがみ）のマジョリティア」です。

クリック

ルールも用語もわからない中、勝つことを強いられる

「暗中模索（あんちゅうもさく）カードゲーム」

最初は主人公TAIGA（たいが）くんと一緒に何が何やらですが、

一緒に少しずつ用語の意味を考えていく面白さがありました。

さらに対戦相手に合わせてカードデッキを組み替える必要があり、運では決して勝てません。

用語とルールを理解し、理詰（りづ）めで勝つ。ロジック部門にふさわしい作品でした。

クリック

爆笑部門候補はこの5作品です

クリック

X-ROOM（えっくするーむ）さんの

魔造少女（まぞうしょうじょ）オトメーティア ～生配信中！（なまはいしんちゅう）～です。

クリック

説明不要かもしれませんが……

名前を読み上げるだけでもこの配信が消されてしまう気さえしてきました。

クリック

こちらです。

もはやドクターグロウリーが一番目立っているまであります。

ちなみにドクターグロウリーは女性リスナーに大人気のマッドサイエンティストです。

クリック

怪人の名前だけでなくそのセリフや、リスナーのコメントも面白過ぎました。

クリック

独創部門候補はこの9作品です

クリック

冬のいもうとさんの「捌月（はちがつ）のダムナシオン」です。

クリック

亡霊武者の祟（たた）りから逃れるサバイバルゲーム、でいて、

クリック

一族の骨肉（こつにく）の争（あら）い。

それは作中だけでなく、民衆に、クリエイターに、プレイヤーに、

クリック

筋道立（すじみちだ）っていながら、暴論ともいえる言葉の刃（やいば）で飛び火します。

読み手を突き放し続けます。

クリック

それなのに面白い。

クリック

私は「捌月（はちがつ）のダムナシオン」という作品に、魅入（みい）られ、祟（たた）られてしまったのかも、しれません。

クリック

短編部門候補はこの5作品です

クリック

namacream（生クリーム）さんのOnly Dance!（オンリーダンス）です。

（踊るまで待つ）

「踊るだけ」

それが、こんなにも笑顔になるものだったとは。

5分ほどの話です。落ち込んでる方も、気分が乗らない方も、元気な人も、プレイしてみてください。

そして踊ってください。

クリック

ムービー・動画部門候補はこの3作品です。

クリック

SCIKA（シカ）さんのInverted Angel（インバーテッドエンジェル）です。

言葉よりも見ていただくことが一番だと思います。このあと、フルで流させていただきます。

クリック

歌曲部門候補はこの10作品です

クリック

七夕（たなばた）プラネットさんの

クリック

「デザイアフラワーズ」です。

オープニングムービーに歌、

さらに四人のヒロインそれぞれで異なるエンディングの歌があって計（けい）五曲（ごきょく）。

現在、恋莉（こゆり）先輩ルート、エンディングの歌「Lily（リリィ）」を流していますが、

それは単に、私がこの歌を一番好きで、流したかったからです！

五曲それぞれ、作品やキャラクターに合った、良い歌でした。

クリック

ＢＧＭ部門候補はこの12作品です

クリック

ゆうやけフォカマイユさんの（カゲヒナタを一気に言い切る）「カゲヒナタノ詠（うた）」です。

ここぞという場面の切ない曲、温かい曲ももちろん良かったのですが、

クリック

日常シーンで流れる曲も心地よく、

クリック

夏の田舎でボーイミーツガール、可愛い女の子と遊ぶ日々がより魅力的に感じられ、

「最初から最後まで」物語にひたることができました。

クリック

特殊効果部門候補はこの6作品です

クリック

パンくず工房さんの

クリック

「Sugar,sugar,sugarcoat（シュガー・シュガー・シュガーコート）」です。

寄宿舎のある宗教系の学園を舞台にした「ロマンシス」の「恋愛シミュレーションノベルゲーム」

システム的な演出だけでなく、物語自体にも様々な仕掛けがされていて、

翻弄されつつも目が離せませんでした。

その仕掛けについて、ここで詳（つまび）らかにするのは野暮（やぼ）というもの。

実際に味わって、そして彼女たちの心の機微（きび）を、感じてください。

クリック

美術部門候補はこの6作品です

クリック

NANTEDOW（ナンテドウ）さんの

「ショートケーキの埋葬（まいそう）」です。

クリック

時に綺麗に、

クリック

時に気味悪く。

クリック

ネタバレになるため、お見せできなかった場面もありました。

クリック

どの場面も、登場人物の心情描写をより強烈に、鮮烈に印象付けるもので、

先の読めない物語と相まって、最後まで目が離せない作品でした。

クリック

最後の部門、作品部門。本日紹介した全ての作品が対象です。

クリック

Ｔ・Ｓさんの

久遠（くおん）の彼方（かなた）です。

クリック

貴族と平民が分断され、魔族の脅威もある魔法世界を舞台にした長編シミュレーションＲＰＧ。

クリック

　壮大なストーリー、印象的なエピソード、魅力的な登場人物たち。

プレイ中は「久遠（くおん）の彼方（かなた）」の世界にどっぷり入り込んでいて、

読み終わりたくない。このままずっと彼らを見ていたい。

そう思えた、素晴らしい作品でした。

クリック

字が小さくて申し訳ありませんが、これが授賞作一覧となります。

サイトにも掲載いたします。

これから、ムービー・動画部門受賞作、「Inverted Angel（インバーテッドエンジェル）」の

ムービーをご覧いただいたのち、

授賞サークルさんからのコメントになります。

もし配信でご覧くださっている授賞サークルさんがおりましたら、

私宛にウェブ拍手もしくはX（旧ツイッター）のリプライかダイレクトメッセージをもらえましたら

読み上げさせていただきます。

また、すでにコメントいただいているサークルさんでも差し替え可能です。

　クリック

**ノミネートサークル様からのコメント**

さて、ここからはノミネートサークル様からのコメントをご紹介いたします。

まずは会場にお越しくださっている方からとなります

「アウラルと光（ひかり）の竜（りゅう）～Gathering Light（ギャザリングライト）～」みむいむ様

「PaintPain（ペイントペイン） ～少女はメイドの手をとって～」solophilia（ソロフィリア）様

「眠（ねむ）れヘリオトロープ」パラドラスト様

「デザイアフラワーズ」七夕（たなばた）プラネット様

「カゲヒナタノ詠（うた）」ゆうやけフォカマイユ様

「トランス→トラベル」の物置（ものおき）の中（なか）の骸骨（がいこつ）　キョウジ様

「　こんにちは、キョウジです。

　【主演男優部門】授賞の連絡をいただきました。

　コメントとか苦手なので、何を言ったらいいかわかりません。

　ただ、めちゃくちゃ嬉しいです。

　そして、このような機会を提供し続けているみなみさんがすごいと思いますし、感謝しています。

　とにかく、ありがとうございました！」

「魔造少女（まぞうしょうじょ）オトメーティア ～生配信中！（なまはいしんちゅう）～」の

X-ROOM（えっくするーむ）様

「サークルX-ROOMの代表へっくすです。

この度は二部門受賞と言う事で、たいへん光栄に思います。

「助演女優部門」と言う事で、アルカナメイデンをお褒め頂きました。

アルカナメイデンはオトメーティアの先輩としては最悪としか言いようがありませんが、

みんなのために頑張る正義のヒーローとしては本物である、と言ったキャラクターとして設定しました。

オトメーティア共々、応援したくなる存在と感じていただけたら幸いです。

現在当サークルでは、

もともと性別がないホムンクルスが気軽に男の子になったり女の子になったりして冒険する成人向けRPG、

「あるけむにゅすと！～全なる錬金術師と全裸の借金取り～」を開発中です。

成人していてご興味のある方は、是非ともCi-enのフォロー等よろしくお願い致します。」

「建設的な恋なんて！」のくまのこ道（どう）、まふ様

「この度は「穏やか部門」にて賞をたまわり、誠にありがとうございます。

作ったゲームをどのように形容するか、毎回悩むのですが、

これからは大手を振って「穏やかです！」と言わせていただこうと思います。

穏やかな大人の乙女ゲーム、『建設的な恋なんて！』を、今後ともどうぞよろしくお願いします。

ありがとうございました。」

「捌月（はちがつ）のダムナシオン」の冬のいもうと　末黒　野芒（すぐろの　すすき）様

「同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2024開催、おめでとうございます。ならびに独創部門受賞、ありがとうございます。

時に作品は、感想という形でプレイヤーから自白を引き出します。自分は作品に何を求め、どういう眼差しで向き合っているのか？　うっかり猫を袋から出してしまうこともあるでしょう。

それでも、作品が誰かの視野の広がりや、問い直しのきっかけになったとしたら、これほど幸いなことはありません。

どうかみなさまが、この祟りから無事に抜け出せますように。」

Only Dance!（オンリーダンス）のnamacream（生クリーム） なまーく様

「このたびは、大変光栄ある賞をいただきまして、ありがとうございます。

このゲームでは、「踊ってたら元気になる」という実際の普段の体験を、素直に表現しました。

これまでにも たくさんの温かいコメントをいただいており、

今後のゲーム制作の大きなモチベーションとなっています。

この場をお借りして、プレイしてくださった方々、そして主催の みなみ様に

心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。」

久遠（くおん）の彼方（かなた）のＴ・Ｓ様

「この度は同人オブザイヤーにて３つも受賞させていただき本当にうれしいです。

久遠の彼方に限らず自作は全て連載形式で公開しており

作者自身も先の展開は不明瞭で、決してスマートなつくりではありませんが

それが結果的に生き物のような作品になったと思います。

これからも心に残るゲームを作っていきます、本当にありがとうございます。」

「鏡（かがみ）のマジョリティア」のパルソニック様

クリック（真っ白になる）

クリック（一行目表示される）

「オブザスペラおよびインスペラの皆様。

クリック

この度は、オリジンのアバターである『鏡のマジョリティア』を『ロジック賞』にスペラして頂き、大変コニコです。

クリック

オリジンのタクティクスペラはニッチなジャンルのゲームなのもあり、

当初はユニークなアバターにタッチできればコニコと考えておりました。

クリック

しかし、まさか、こんなにも沢山のオブザスペラの皆様にインスペラになって頂けたことで、

オリジンのソウルも思わずスレットを受けてしまいました。

クリック

今回、この会場には直接サモンできずバックスペラするマナプアーな低コストソウルハングリーですが、

クリック

せめてコメントだけでもキャストできればと思いミラーフェイズにスペラさせて頂きました……コニコです。

クリック

最後に、オリジンのゲームをミラーソウルせずにマナフリーな賞をスペラしてくださった主催の『みなみ』さんに。

クリック

ありクイ……じゃなくて、ありがとうございました。

クリック

ターンエンド。　パルソニックより」

以上です。

まるでヘイストアタック連発でスペラーをワカラセるかのような力強いコメントでした。

……ありクイ。ありがとうございました。

クリック

の様

「」

の様

「」

の様

「」

**おわりに**

さて、これにておすすめ同人紹介による

同人ゲーム・オブ・ザ・イヤー2024　授賞作発表を終了いたします。

授賞されたサークルさんおめでとうございます。

ノミネートさせていただいたサークル様、さらには昨年度作品を発表され、プレイ

させていただいた全てのサークル様、会場にお越しくださった皆様、

配信をご覧になってくださった皆様、ありがとうございました。

おかげさまでこのような催しを行うことができました。

　また来年も開催予定ですので、よろしくお願いいたします。

　主催はおすすめ同人紹介、みなみでした。